

# アンケート結果報告書 (速報版)

令和2年9月  
各務原市

## 1. 調査の概要

### (1) 目的

各務原市の新たな市立の特別支援学校の整備に向け、規模や機能、あり方について検討する際の基礎資料とすることを目的に、関係する小中高生及び未就学児の保護者、教員、PTA役員に対して、アンケートを実施。

### (2) 調査名

各務原市特別支援学校整備にかかる市民アンケート

### (3) 調査対象

調査対象者を次に示す。

表 調査対象者

対象者		対象者数
小中高生	特別支援学校に通う児童生徒	174
	特別支援学級に通う児童生徒	360
未就学児	福祉の里の利用者 「つくし」 福祉型児童発達支援センター 「たんぼぼ」 医療型児童発達支援センター	59
	「つくし」「たんぼぼ」を利用していないが手帳を取得している方 (福祉の里以外のサービスを利用されていると考えられる方)	22
小計		615
その他	小中学校及び各務原特別支援学校の教員 (各学校 3名)	78
	小中学校のPTA役員 (各学校 3名)	75
小計		153
合計		768

※上記のほか、児童発達支援事業を行う福祉の里「さくら」の窓口にも設置し興味のある方に配布

#### (4) 調査項目

##### (小中学生及び未就学児の保護者)

###### ①児童生徒ご本人について（全員）

- ・性別
- ・年齢
- ・居住地域
- ・障がいの種別
- ・障がいの程度

###### ②現在の通学状況について（特別支援学校に通学する児童生徒の保護者のみ）

- ・通学先
- ・通学している学校の施設について満足しているもの
- ・現在の通学方法
- ・通学時間

###### ③これから各務原市内につくる新しい特別支援学校について（全員）

- ・学校の場所について重要だと思うこと
- ・学校敷地の利用について、特に優先すべきだと思うもの
- ・市内の特別支援学校に通う場合の通学方法について
- ・より充実させたほうが良いと思うもの
- ・より積極的にとりいれるべきだと思う機能
- ・特に配慮すると良い点など(自由意見)

##### (教員・PTA役員)

###### ①これから各務原市内につくる新しい特別支援学校について（全員）

- ・学校の場所について重要だと思うこと
- ・学校敷地の利用について、特に優先すべきだと思うもの
- ・より充実させたほうが良いと思うもの
- ・より積極的にとりいれるべきだと思う機能
- ・特に配慮すると良い点など(自由意見)

#### (5) 調査方法

##### ①配布・回収方法

郵送

##### ②配布物

- ・アンケート調査票（小中学生、未就学児用または教員、PTA役員用）
- ・返信用封筒

(6) 調査に係る日程

①アンケート用紙の配布

令和2年7月中

②回答期限

令和2年8月17日

(7) 回収状況（8月17日到着分まで）

表 調査対象ごとの回収状況

	保護者	教員	PTA役員
配布票数（票）	615	78	75
回収票数（票）	240	67	46
有効回収票数（票）	240	67	46
回収率（％）	39.0	85.9	61.3

## 2. アンケート調査票

### (1) 保護者

#### ● 児童生徒ご本人について【全員がご回答下さい】

問1 性別と年齢をご記入下さい。

性別		年齢 (R2年4月2日時点)	歳
----	--	----------------	---

問2 お住まいの地域であてはまるものに○をつけて下さい。

- |           |           |           |           |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 那加中学校区 | 3. 稲羽中学校区 | 5. 鶉沼中学校区 | 7. 蘇原中学校区 |
| 2. 桜丘中学校区 | 4. 川島中学校区 | 6. 緑陽中学校区 | 8. 中央中学校区 |

問3 障がいの種別であてはまるもの**全て**に○をつけて下さい。

(複数あてはまる場合は、主たる障がいに◎、それ以外に○をつけて下さい。)

- |          |          |            |
|----------|----------|------------|
| 1. 視覚障がい | 3. 肢体不自由 | 5. 知的障がい   |
| 2. 聴覚障がい | 4. 病弱    | 6. その他 ( ) |

問4 お持ちの手帳の種類や等級など、障がいの程度であてはまるもの**全て**に○をつけて下さい。

- |                        |    |    |    |         |    |    |
|------------------------|----|----|----|---------|----|----|
| 1. 身体障害者手帳             | 1級 | 2級 | 3級 | 4級      | 5級 | 6級 |
| 2. 療育手帳                | A1 | A2 | B1 | B2      |    |    |
| 3. 精神障害者保健福祉手帳         | 1級 | 2級 | 3級 |         |    |    |
| 4. 手帳は取得していないが診断を受けている |    |    |    | 診断名 ( ) |    |    |
| 5. 手帳も診断もない            |    |    |    |         |    |    |
| 6. その他 ( )             |    |    |    |         |    |    |

#### ● 現在の通学状況について【特別支援学校に通学する児童生徒の保護者の方のみご回答下さい】

問5 通学先であてはまるものに○をつけて下さい。

- |                 |             |              |
|-----------------|-------------|--------------|
| 1. 長良特別支援学校     | 4. 羽島特別支援学校 | 7. 各務原特別支援学校 |
| 2. 岐阜希望が丘特別支援学校 | 5. 関特別支援学校  |              |
| 3. 岐阜清流高等特別支援学校 | 6. 中濃特別支援学校 |              |

問6 通学している学校の施設について満足しているものに○をつけて下さい。(3つまで)

- |                       |            |
|-----------------------|------------|
| 1. 立地 (周辺環境)          | 6. 運動場     |
| 2. 教室                 | 7. 体育館     |
| 3. 保健室                | 8. プール     |
| 4. 自立活動室              | 9. その他 ( ) |
| 5. 陶芸や木工等の作業学習を行う特別教室 |            |

問7 現在の通学方法であてはまるものに○をつけて下さい。

- |            |           |            |
|------------|-----------|------------|
| 1. 自家用車で送迎 | 3. 公共交通機関 | 5. その他 ( ) |
| 2. スクールバス  | 4. 自転車、徒歩 |            |

問8 通学時間であてはまるものに○をつけて下さい。

- |          |              |          |
|----------|--------------|----------|
| 1. 30分未満 | 2. 30分～1時間未満 | 3. 1時間以上 |
|----------|--------------|----------|

●これから各務原市内につくる新しい特別支援学校について【全員がご回答下さい】

問9 学校の場所について重要だと思うことにをつけて下さい。(3つまで)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 公共交通機関の駅(バス停)に近いこと | 4. 福祉施設又は医療機関が近くにあること |
| 2. 市街地の周辺にあること        | 5. 周辺に自然環境が多いこと       |
| 3. 既存の小中学校の近くにあること    | 6. その他( )             |

問10 学校敷地の利用について、特に優先すべきだと思うものに○をつけて下さい。(3つまで)

- |        |        |               |
|--------|--------|---------------|
| 1. 校舎  | 3. 体育館 | 5. 芝生や樹木などの緑地 |
| 2. 運動場 | 4. 駐車場 | 6. その他( )     |

問11 市内の特別支援学校に通う場合の通学方法について、あてはまるものに○をつけて下さい。  
(お子さんが未就学児の場合は、将来の想定でご記入下さい。)

1. 自家用車で学校まで送迎
2. スクールバスを利用
3. 立地的に可能なら自身(自転車・徒歩・公共交通機関等)で通学、難しければ自家用車で送迎
4. 立地的に可能なら自身(自転車・徒歩・公共交通機関等)で通学、難しければスクールバスを利用
5. その他( )

問12 より充実させたほうが良いと思うものに○をつけて下さい。(3つまで)

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 相談室                 | 6. ランチルーム              |
| 2. 保健室                 | 7. 児童生徒同士が交流できるフリースペース |
| 3. 自立活動室               | 8. 農業等を体験できる屋外施設       |
| 4. 陶芸や木工等の作業学習を行う特別教室  | 9. プール                 |
| 5. 販売体験や地域住民交流ができるラウンジ | 10. その他( )             |

問13 より積極的にとりいれるべきだと思う機能に○をつけて下さい。(3つまで)

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 児童生徒を犯罪から守る機能        | 5. 小中高との交流の拠点となるための機能   |
| 2. 児童生徒を災害から守る機能        | 6. 障がい者を対象とした避難場所としての機能 |
| 3. 空調や衛生設備等の快適性を高める機能   | 7. 卒業生の交流の拠点となるための機能    |
| 4. 地域住民等との交流の拠点となるための機能 | 8. その他( )               |

問14 新たに小学部から高等部までの教育を行う特別支援学校を各務原市に建設するにあたり、特に配慮すると良い点などを記載してください。(自由意見)

①学校施設(建物や敷地等)について

②その他(学校の運営等)について

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

## (2) 教員・PTA 役員

### これから各務原市内につくる新しい特別支援学校について

問A 学校の場所について重要だと思うことをつけて下さい。(3つまで)

- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1. 公共交通機関の駅(バス停)に近いこと | 4. 福祉施設又は医療機関が近くにあること |
| 2. 市街地の周辺にあること        | 5. 周辺に自然環境が多いこと       |
| 3. 既存の小中学校の近くにあること    | 6. その他( )             |

問B 学校敷地の利用について、特に優先すべきだと思うものに○をつけて下さい。(3つまで)

- |        |        |               |
|--------|--------|---------------|
| 1. 校舎  | 3. 体育館 | 5. 芝生や樹木などの緑地 |
| 2. 運動場 | 4. 駐車場 | 6. その他( )     |

問C より充実させたほうが良いと思うものに○をつけて下さい。(3つまで)

- |                        |                        |
|------------------------|------------------------|
| 1. 相談室                 | 6. ランチルーム              |
| 2. 保健室                 | 7. 児童生徒同士が交流できるフリースペース |
| 3. 自立活動室               | 8. 農業等を体験できる屋外施設       |
| 4. 陶芸や木工等の作業学習を行う特別教室  | 9. プール                 |
| 5. 販売体験や地域住民交流ができるラウンジ | 10. その他( )             |

問D より積極的にとりいれるべきだと思う機能に○をつけて下さい。(3つまで)

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 児童生徒を犯罪から守る機能        | 5. 小中高との交流の拠点となるための機能   |
| 2. 児童生徒を災害から守る機能        | 6. 障がい者を対象とした避難場所としての機能 |
| 3. 空調や衛生設備等の快適性を高める機能   | 7. 卒業生の交流の拠点となるための機能    |
| 4. 地域住民等との交流の拠点となるための機能 | 8. その他( )               |

問E 新たに小学部から高等部までの教育を行う特別支援学校を各務原市に建設するにあたり、特に配慮すると良い点などを記載してください。(自由意見)

①学校施設(建物や敷地等)について

②その他(学校の運営等)について

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

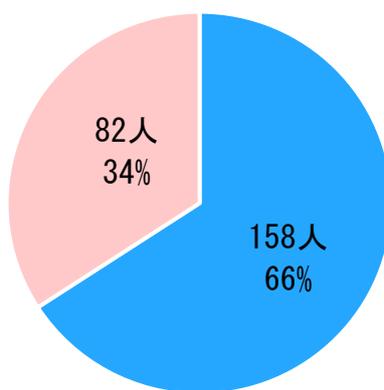
### 3. アンケート調査結果

#### (1) 保護者

##### ●児童生徒について

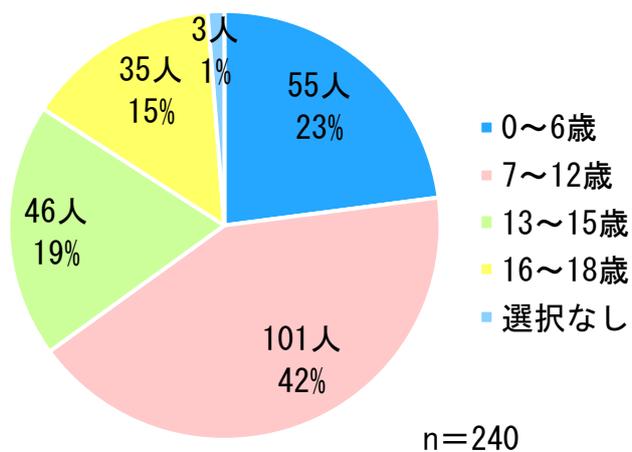
##### 問1 性別と年齢

児童生徒の性別は、男子が158人(66%)、女子が82人(34%)、年齢は、0～6歳が55人(23%)、7～12歳が101人(42%)、13～15歳が46人(19%)、16～18歳が35人(15%)となっています。



n=240 ■ 男 ■ 女

図 1-1 性別



n=240

図 1-2 年齢

## 問2 居住地

未就学児及び特別支援学級に通う児童生徒を含む居住地は、「蘇原中学校区（54人23%）」が最も多くなっています。

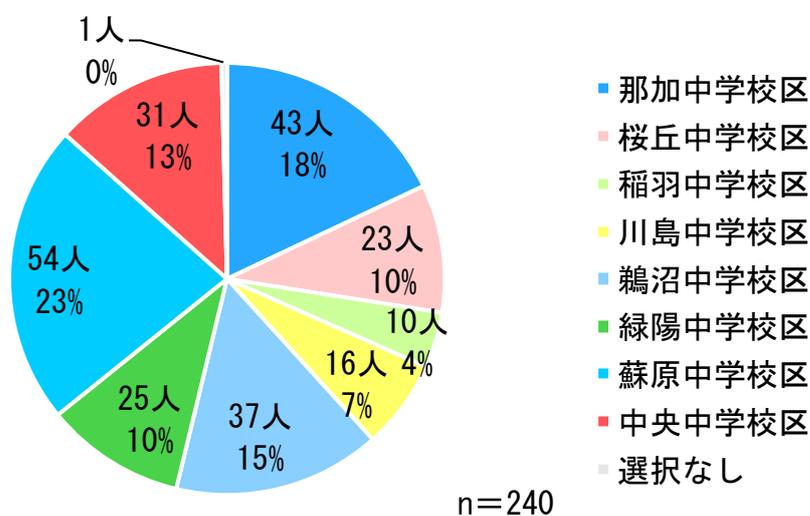


図 1-3-1 居住地

居住地別の特別支援学校の通学先は、「那加中学校区」、「桜丘中学校区」、「中央中学校区」では、「中濃特別支援学校」が最も多く、「稲羽中学校区」、「川島中学校区」では、「羽島特別支援学校」が最も多く、「鶉沼中学校区」、「緑陽中学校区」、「蘇原中学校区」では、「各務原特別支援学校」が最も多くなっています。

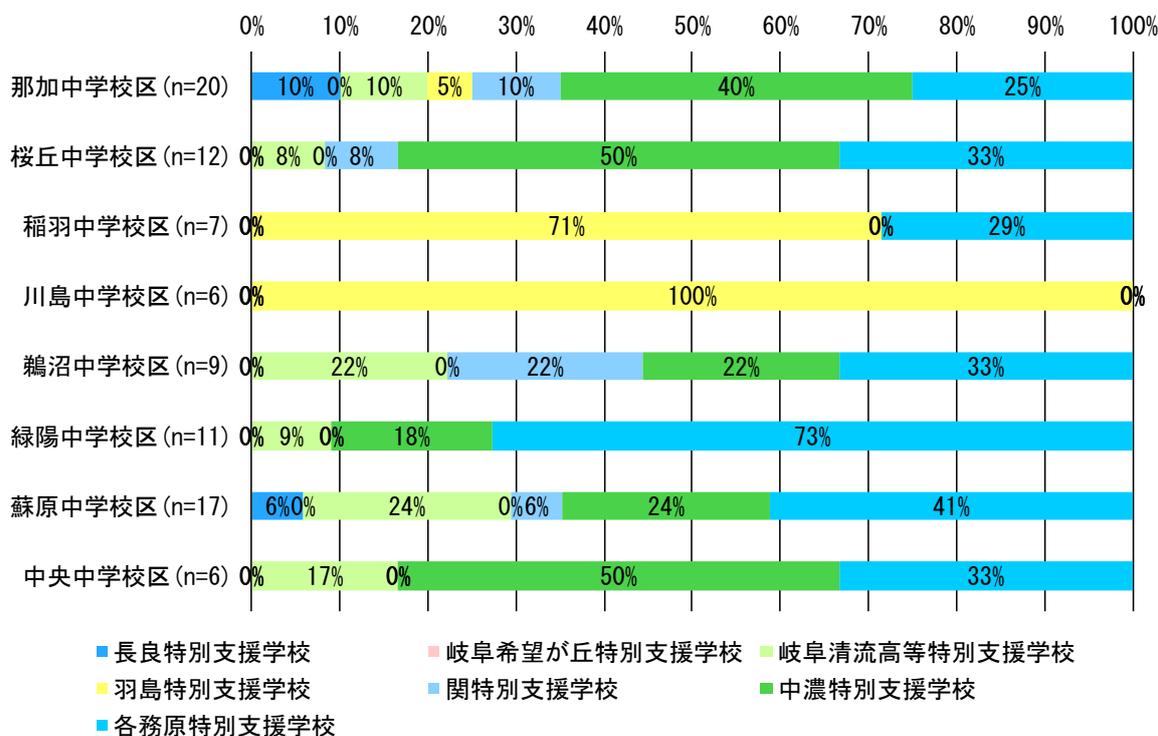


図 1-3-2 居住地別の特別支援学校の通学先

### 問3 障がいの種別

未就学児及び特別支援学級に通う児童生徒を含む主たる障がいは、「知的障がい(137人63%)」が最も多くなっています。

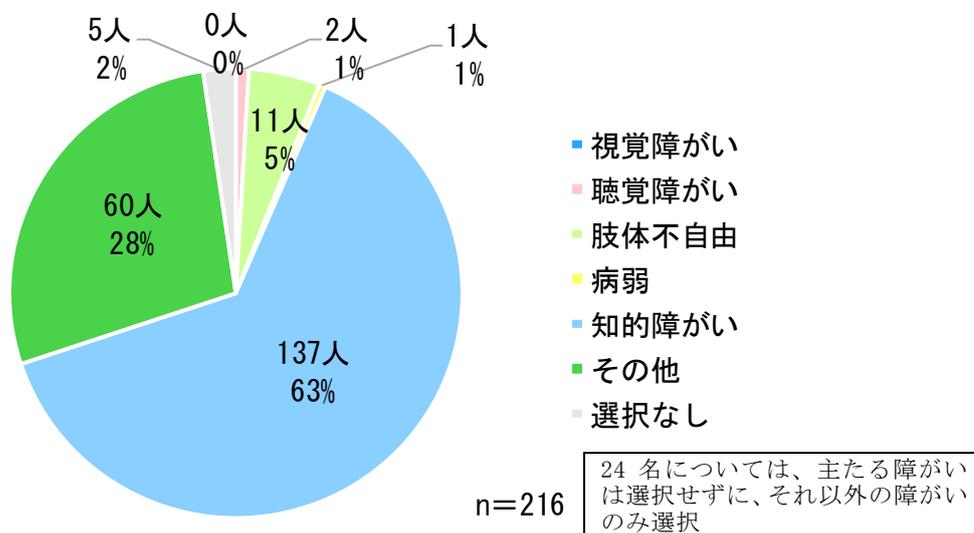


図 1-4-1 主たる障がいの種類

その他の内容
ADHD、多動
学習障がい
情緒
精神障がい
広汎性発達障がい、自閉症スペクトラム
適応障がい
ダウン症
てんかん
聴覚過敏
心臓機能障がい
肝臓機能障がい（胆道閉鎖症、肝移植済）
分からない
未確認
記載なし

主たる障がいの種類別の通学先は、「知的障がい」を持つ児童生徒では、「各務原特別支援学校」が最も多くなっています。（特別支援学校に通う児童生徒の通学先の集計であり、未就学児及び特別支援学級に通う児童生徒を含まないため、主たる障がい種類別の合計人数は、図 1-4-1 と比べ、少なくなっています。）

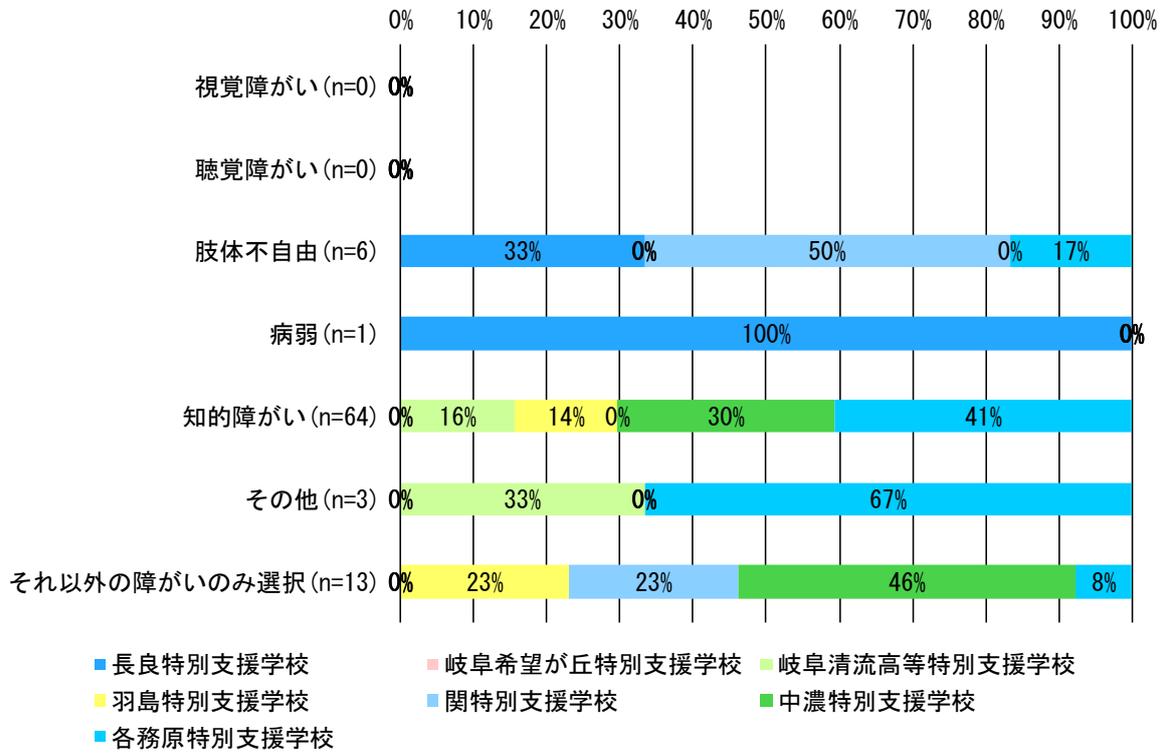


図 1-4-2 主たる障がいの種類別の通学先

主たる障がいに対して重複と考えられる、それ以外の障がいも、「知的障がい（31件 43%）」が最も多くなっています。

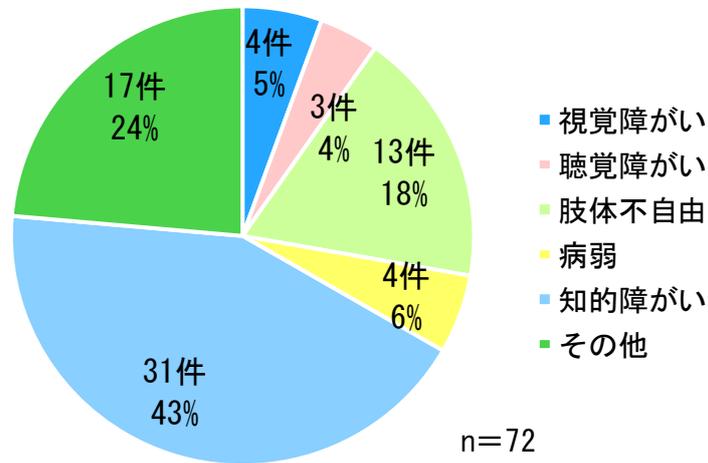


図 1-5 それ以外の障がいの種類

その他の内容
ADHD
注意欠陥障がい
言語障がい
広汎性発達障がい、自閉症スペクトラム
発達グレー
ダウン症
てんかん
記載なし

#### 問4 手帳の種類や等級など、障がいの程度（複数回答）

児童生徒の障がいの程度は、知的障がい（軽度）に該当する、「療育手帳 B2」（79件 29%）が最も多くなっています。

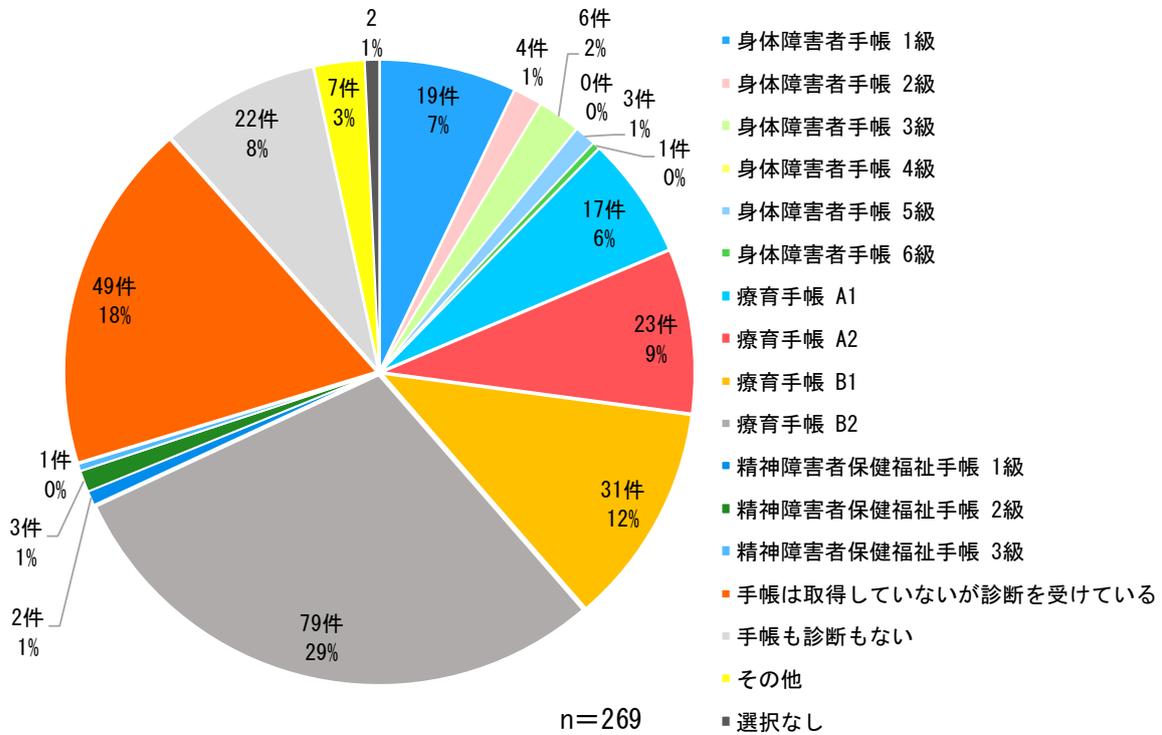


図 1-6 障がいの程度

その他の内容
小児慢性特定疾患
手帳の申請するが、該当せず。日常生活に支障があるため困っている。
記載なし

●現在の通学状況について(特別支援学校に通学する児童生徒)

問5 通学先

児童生徒の通学先は、「各務原特別支援学校(31人 35%)」が最も多く、次に「中濃特別支援学校(25人 28%)」が、多くなっています。

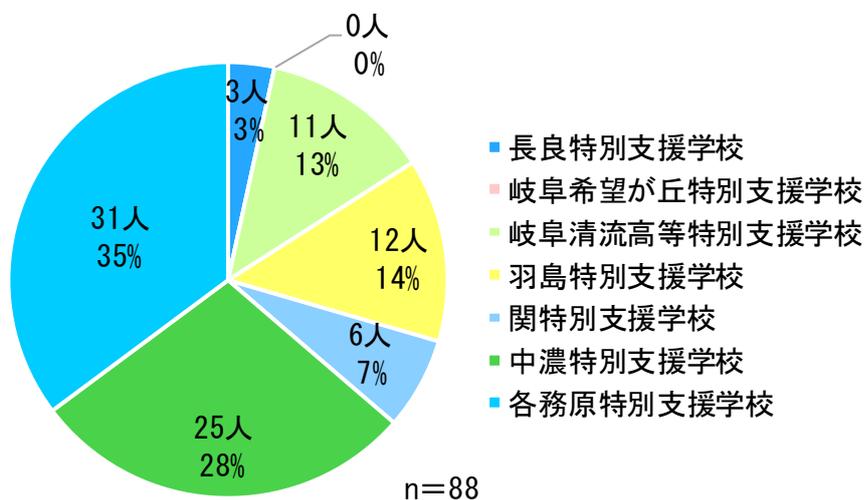


図 1-7 通学先

(参考) 学校ごとの対象とする障がい種別

学校名	障がい種別
長良特別支援学校	病弱
岐阜希望が丘特別支援学校	肢体不自由
岐阜清流高等特別支援学校	知的障がい
羽島特別支援学校	知的障がい・肢体不自由・病弱
関特別支援学校	肢体不自由・病弱
中濃特別支援学校	知的障がい
各務原特別支援学校	知的障がい(高等部のみ)

### 問6 通学している学校の施設について満足しているもの（3つまで）

通学している学校の施設について満足しているものは、「教室（50件 23%）」が最も多く、次に多いのが、「立地（周辺環境）（41件 19%）」となっています。

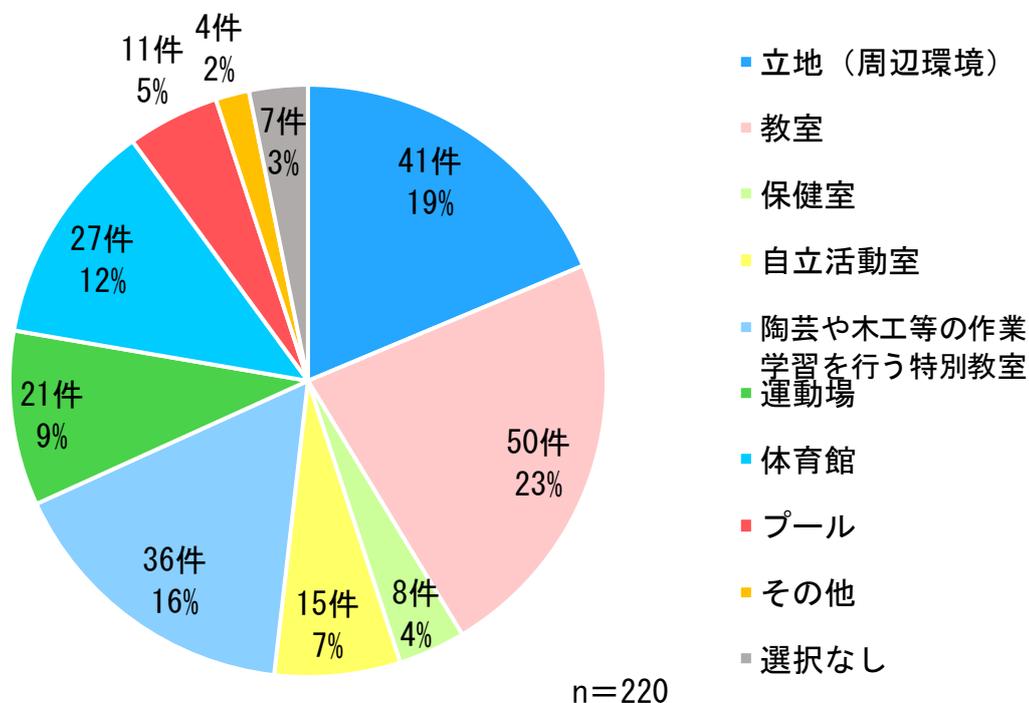


図 1-8 通学している学校の施設について満足しているもの

その他の内容
図書館
寄宿舍
実習室
特別支援学級（知的）
階段昇降機
先生達の対応など
満足しているものはない

### 問7 現在の通学方法

通学方法は、「スクールバス（33件 33%）」が最も多くなっています。

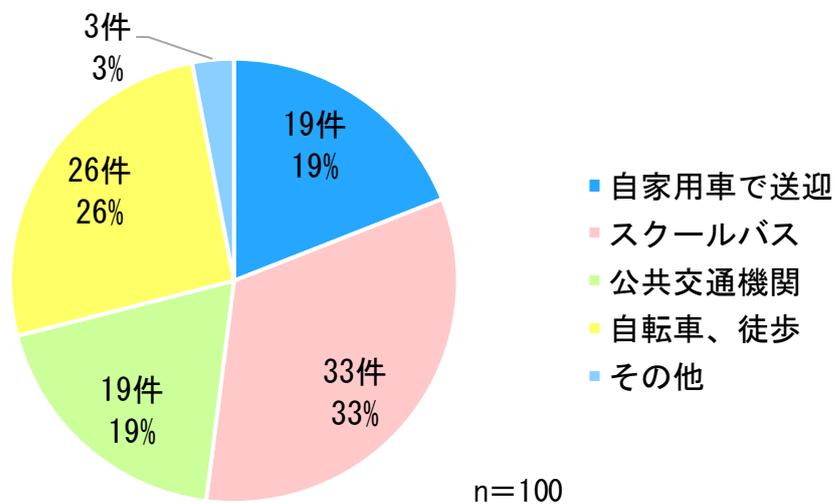


図 1-9 通学方法

その他の内容
入所施設
デイサービス
記載なし

### 問8 通学時間

通学時間は、「30分未満（41人 47%）」と「30分～1時間未満（40人 45%）」が多く、「1時間以上（6人 7%）」は少なくなっています。

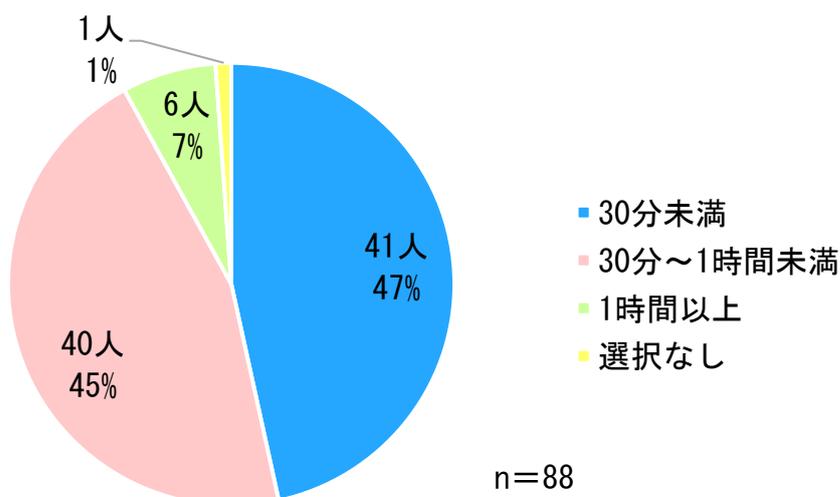


図 1-10 通学時間

## ●これからの各務原市内につくる新しい特別支援学校について

### 問9 学校の場所について重要だと思うこと（3つまで）

学校の場所について重要だと思うことは、「公共交通機関の駅（バス停）に近いこと（150件 31%）」が最も多く、次に多いのが、「周辺に自然環境が多いこと（98件 20%）」、「福祉施設又は医療機関が近くにあること（97件 20%）」となっています。

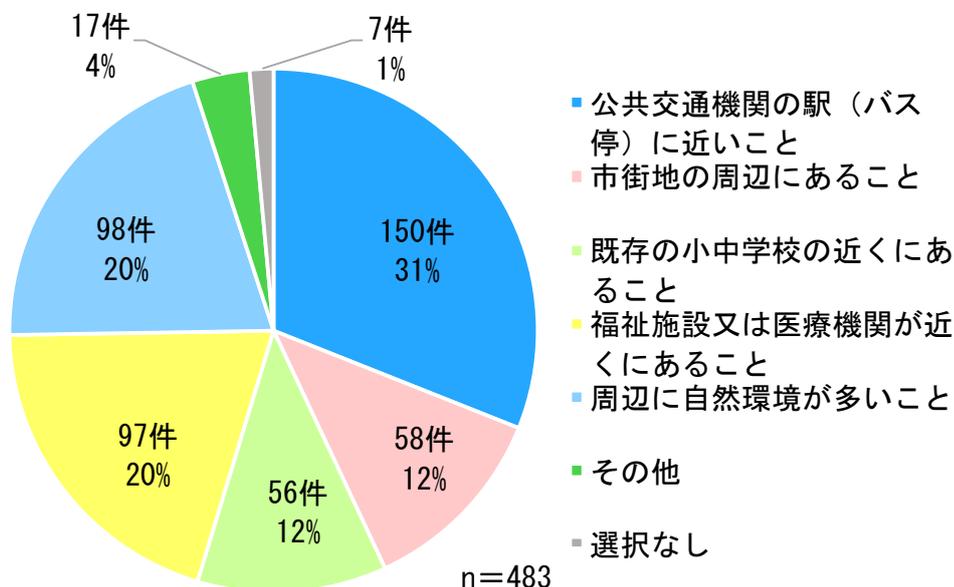


図 1-11-1 学校の場所について重要だと思うこと

その他の内容
近隣住民の理解や協力が得られること。
安全な場所
警察署、派出所が近い
交通量は少なめ、危険が少ない所
危険でなければ場所は重要だと思わない。
山の付近だと雨天に左右されやすい。大雨警報で1週間程休みになって困った。
スクールバスが可能な場所又は自分で行ける所
各務原市のどこからでも通学しやすいこと
自宅から近いこと
できるだけ市の中心にあること（市内の人で極端に遠くなる人がいないこと、市の端にないこと）
周辺道路の渋滞が少ないこと、又は渋滞が少なくなるように整備されること。
駐車場が豊富なこと
広大な土地が必要
広いスペースが確保できる所
行く予定がないのでどこでも。
特に思い付かない

年代別で学校の場所について重要だと思うことは、どの年代においても、「公共交通機関の駅（バス停）に近いこと」が最も多くなっています。次に多いのが、「0～6歳」と「7～12歳」では、「福祉施設又は医療機関が近くにあること」、「13～15歳」と「16～18歳」では、「周辺に自然環境が多いこと」となっています。年代が高くなるほど公共交通機関、自然環境の割合が増え、それ以外の割合が低くなる傾向にあります。

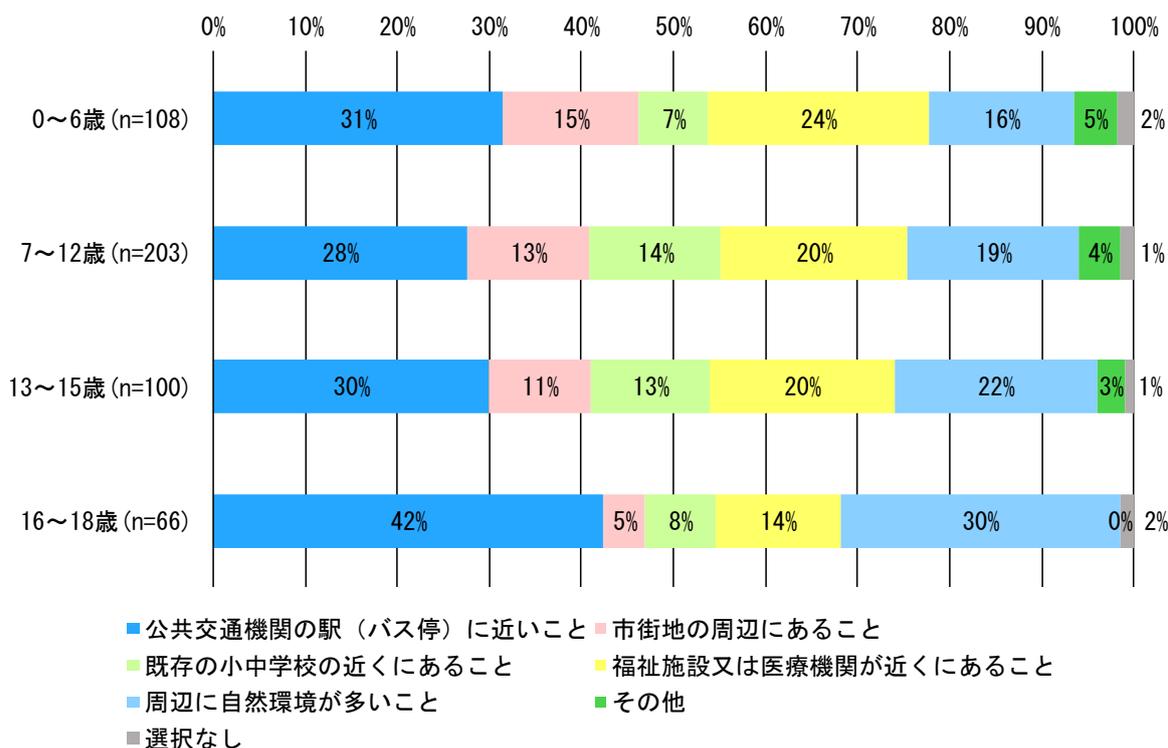


図 1-11-2 年代別の学校の場所について重要だと思うこと

問 10 学校の敷地利用について、特に優先すべきだと思うこと（3つまで）

学校の敷地利用について、特に優先すべきだと思うことは、「校舎（206件 35%）」が最も多く、次に多いのが、「駐車場（131件 22%）」となっています。

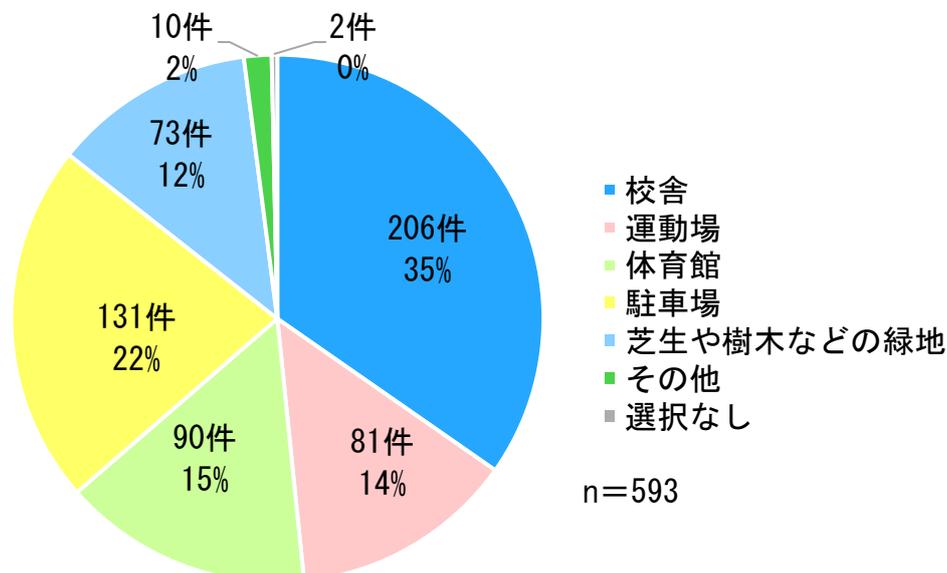


図 1-12-1 学校の敷地利用について、特に優先すべきだと思うこと

その他の内容
プール
エアコン
地域コミュニティとのつながりを推進できる何か（例：喫茶、制作物販売店、鞆の津ミュージアムのようなアールブリュットの美術館）
就労訓練に役立つ教室や畑など。体を動かせる施設、リハビリ施設。
畑
個別指導ができる個室
自立に向けた宿泊施設
特別教室
特に思い付かない

年代別で学校の敷地利用について、特に優先すべきだと思うことは、どの年代においても、「校舎」が最も多く、次に多いのが、「駐車場」となっています。

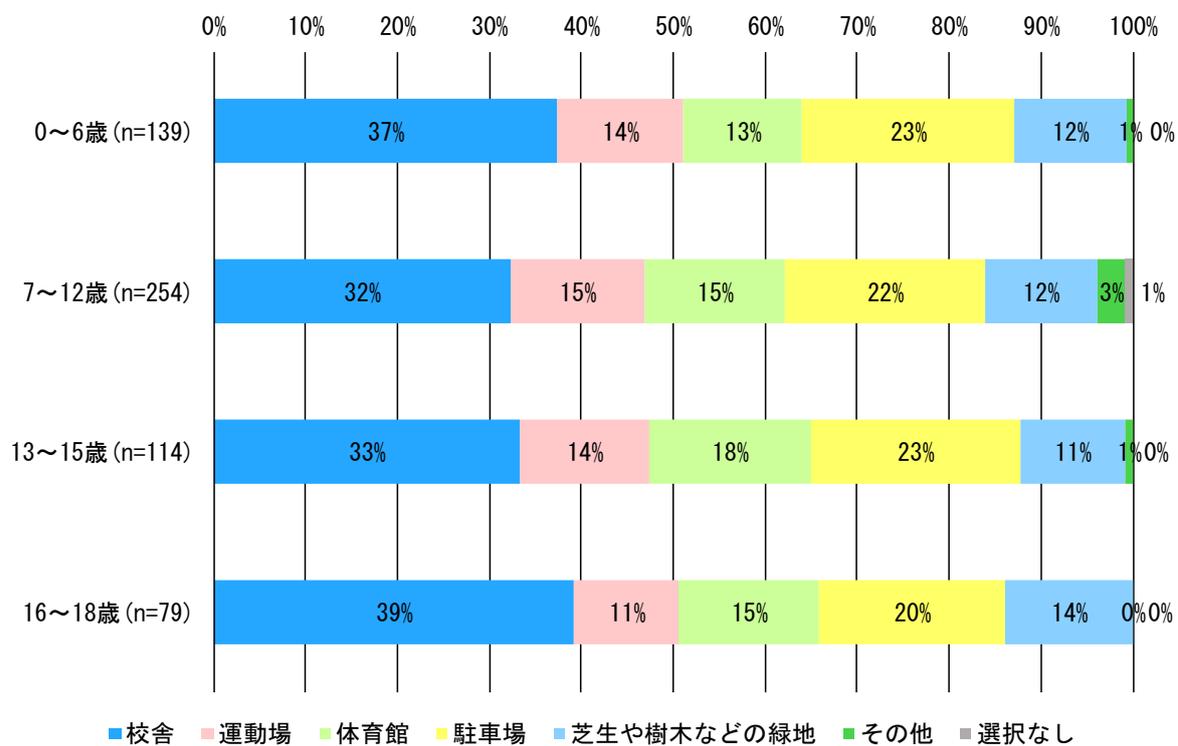


図 1-12-2 年代別の学校の敷地利用について、特に優先すべきだと思うこと

### 問 1 1 市内の特別支援学校に通う場合の通学方法

市内の特別支援学校に通う場合の通学方法は、「立地的に可能なら自身（自転車・徒歩・公共交通機関等）で通学、難しければスクールバスを利用（93件 36%）」が最も多くなっています。

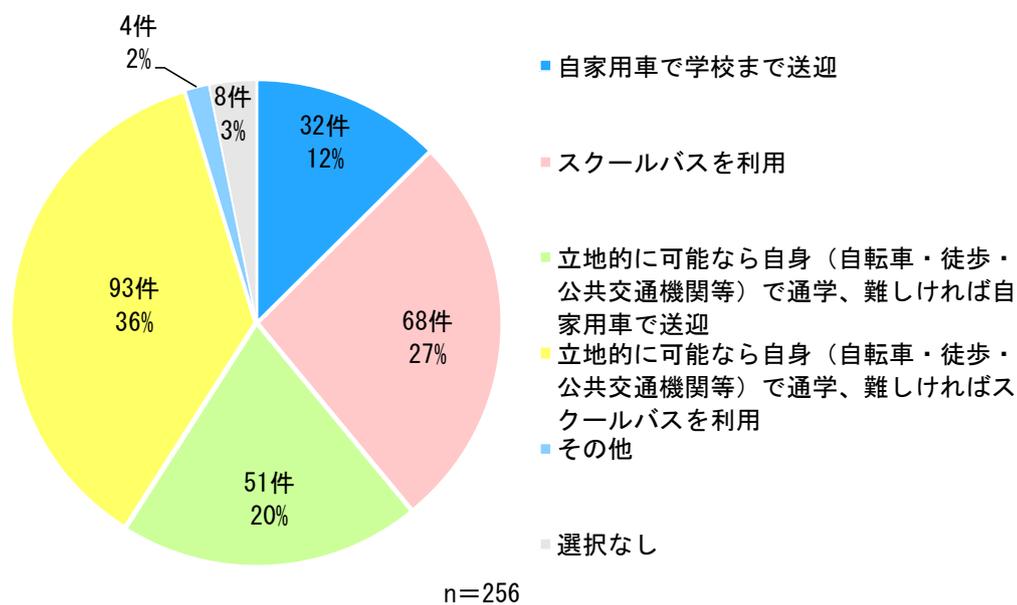


図 1-13-1 市内の特別支援学校に通う場合の通学方法

その他の内容
立地的に可能なら送迎、難しければスクールバスを利用
自転車
行く予定はない。
記載なし

年代別で市内の特別支援学校に通う場合の通学方法は、どの年代においても、「立地的に可能なら自身（自転車・徒歩・公共交通機関等）で通学、難しければスクールバスを利用」が最も多くなっています。次に多いのが、「0～6歳」と「7～12歳」では、「スクールバスを利用」、「13～15歳」と「16～18歳」では、「立地的に可能なら自身（自転車・徒歩・公共交通機関等）で通学、難しければ自家用車で送迎」となっています。年代が高くなるほど、立地的に可能ならば自身で通学させたいという意向が読み取れます。

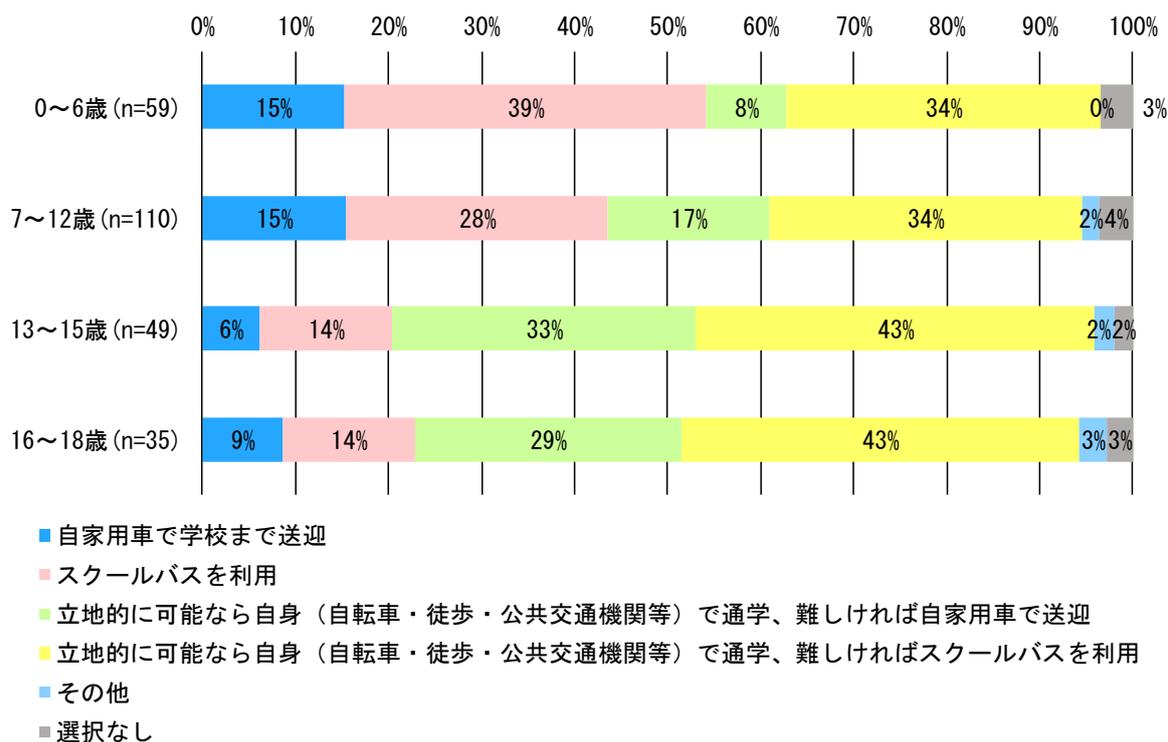


図 1-13-2 年代別の市内の特別支援学校に通う場合の通学方法

## 問12 より充実させたほうが良いと思うもの（3つまで）

より充実させたほうが良いと思うものは、「自立活動室（100件 16%）」、「陶芸や木工等の作業学習を行う特別教室（103件 16%）」、「販売体験や地域住民交流ができるラウンジ（103件 16%）」、「農業等を体験できる屋外施設（101件 16%）」が、多くなっています。

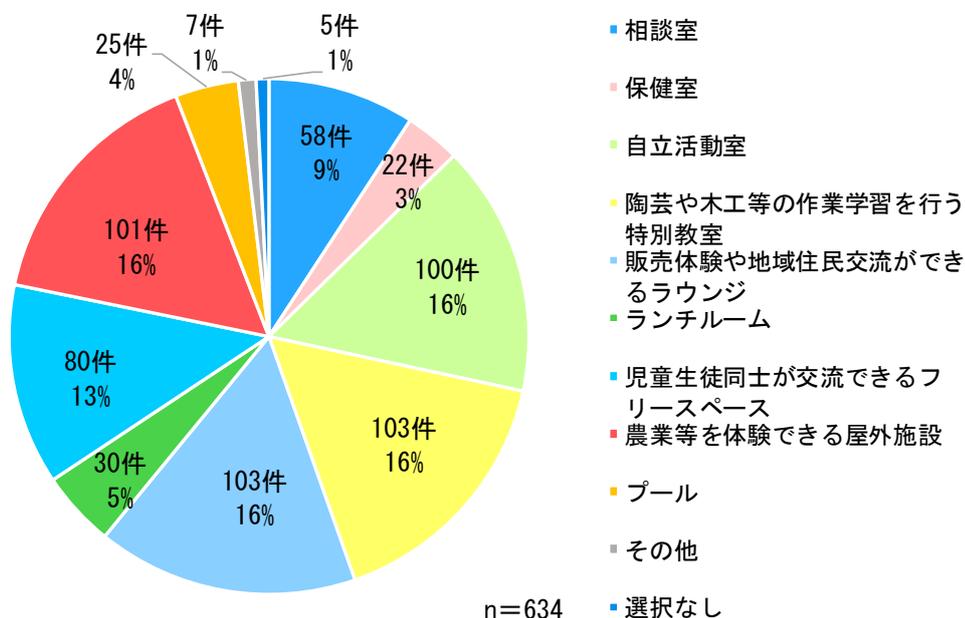


図 1-14-1 より充実させたほうが良いと思うもの

その他の内容
一つ一つの部屋（教室）の広さ
図書室、パソコン室
PC・IT用教室
弁当などを売る購買部
学食（食堂）
駐車場
特に思い付かない

年代別でより充実させたほうが良いと思うものは、どの年代においても、「自立活動室」と「陶芸や木工等の作業学習を行う特別教室」が多くなっています。年齢が高くなるほど、「陶芸や木工等の作業学習を行う特別教室」を求める傾向が見受けられます。

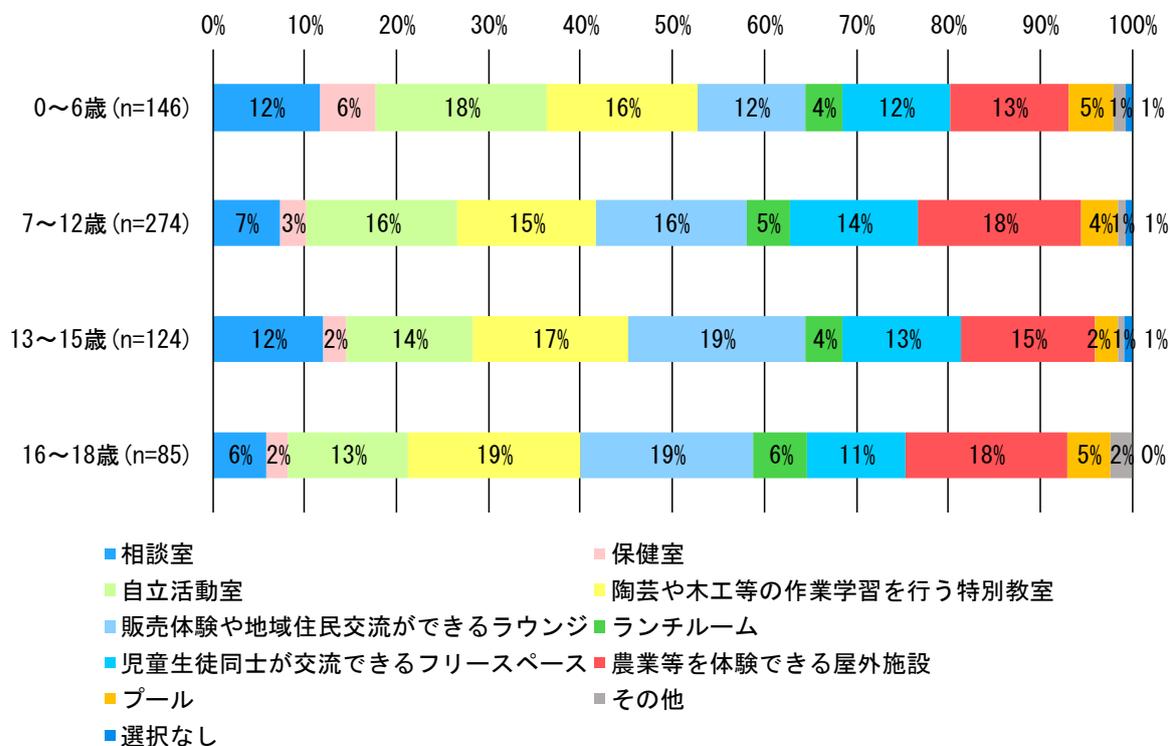


図 1-14-2 年代別のより充実させたほうが良いと思うもの

### 問13 より積極的にとりいれるべきだと思う機能（3つまで）

より積極的にとりいれるべきだと思う機能は、「児童生徒を犯罪から守る機能（126件 20%）」、「児童生徒を災害から守る機能（119件 18%）」、「空調や衛生設備等の快適性を高める機能（105件 16%）」、「障がい者を対象とした避難場所としての機能（105件 16%）」が、多くなっています。

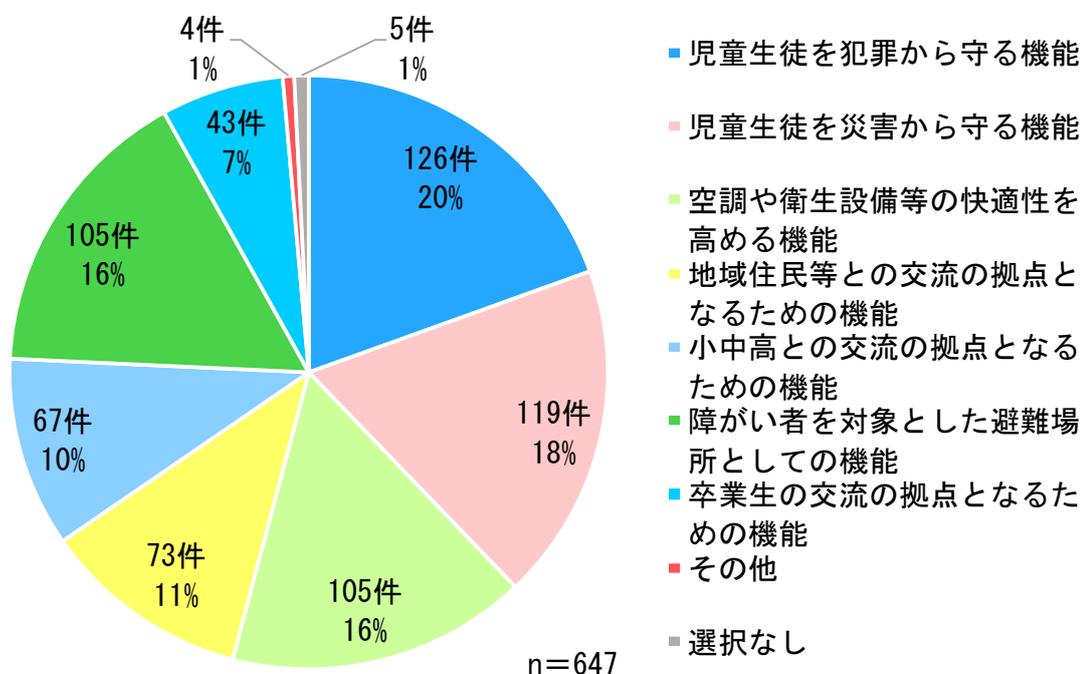


図 1-15-1 年代別のより積極的にとりいれるべきだと思う機能

その他の内容
専門知識をもった教師、指導者の育成
卒業後、受け入れてくれる職場の体験機能
卒業後の進路支援
設計

年代別でより積極的にとりいれるべきだと思う機能は、どの年代においても、「児童生徒を犯罪から守る機能」、「児童生徒を災害から守る機能」、「空調や衛生設備等の快適性を高める機能」、「障がい者を対象とした避難場所としての機能」が多くなっています。年齢が高くなるほど、「地域住民等との交流の拠点となるための機能」が求められている傾向が見受けられます。

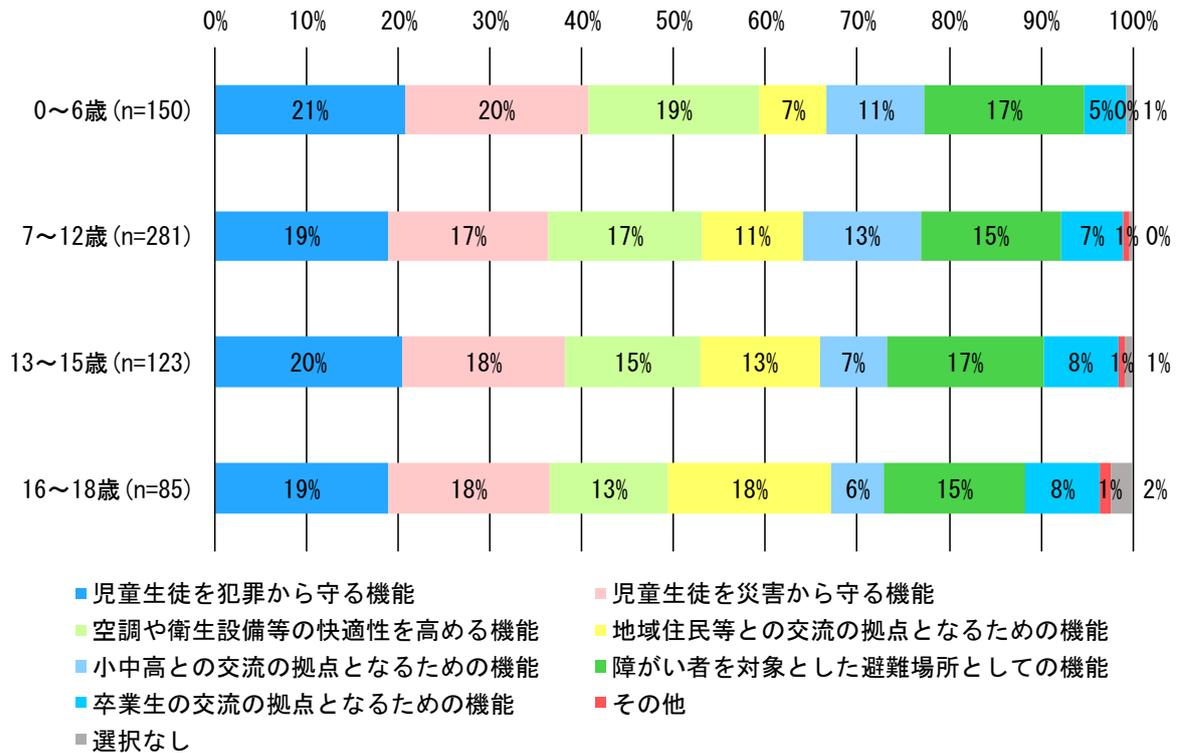


図 1-15-2 年代別のより積極的にとりいれるべきだと思う機能

#### 問 1 4 新たに小学部から高等部までの教育を行う特別支援学校を各務原市に建設するにあたり、特に配慮すると良い点など（自由意見）

調査票では、質問の最後に自由記入欄を設け、本調査などに関することを自由意見として記入していただきました。原則として記入内容をそのまま掲載いたしましたが、明確な誤字脱字等は修正を行っております。また、個人や団体が特定される内容は割愛させて頂いております。

##### (1) 学校施設（建物や敷地等）について

No.	性別	年齢	自由意見
1	男	17歳	交通量が多いと少し不安。
2	男	12歳	駐車場の数を多めに。大通りから避ける。
6	男	5歳	安全第一の上で、開放感があり、誰もが親しみの持てる建物。
8	女	5歳	木の校舎、窓から緑が見える。窮屈でなくのびのび過ごせる場所。
9	女	14歳	プールを浅いのから深いのまで分けられるといい。
11	男	16歳	各務原特別支援学校は木造作りの校舎なので、コンクリート造りの校舎よりは子供たちがゆったりと学校生活を送れるのかなと思う。
12	男	5歳	子供が喜んで通学できる設備・建物・環境づくり。
13	男	16歳	卒業後も自分でできることを作業などで学べる。
14	女	4歳	風通しがよく明るい雰囲気。将来の就職を見越して、体験活動や日常生活の自立を目的とした授業ができる施設。
19	女	13歳	建物は基本的に平屋建て（障がいのレベルに応じて2階建ても）。敷地は広い方がよいが、最低限、体育館や緑地、農業体験ができる農地があればよい。
20	男	5歳	雨の日など車から校舎までぬれないようにしてほしい。視覚的情報や刺激を考えた校舎。
21	女	2歳	廊下を広くしてほしい。
22	女	5歳	市街地につくり、色々な地域の方が通学しやすい場所につくるべき。福祉の里のような山奥につくるべきではない。通学するのは障がい児ということを配慮した場所につくるべき。
23	男	3歳	安全・安心な校舎、通いやすい場所。
27	男	8歳	コロナ対策、防犯カメラ
28	男	10歳	防犯予防（カメラとか）
30	女	0歳	子供が長期間通う施設なので、自立できるような環境であってほしい。ほかにはないものを取り入れて、楽しいと思える学校にしてほしい。
31	女	9歳	バリアフリー
32	男	15歳	学部別の建物が良いと思う。身体を精一杯動かせるよう広い運動場が良いと思う。
33	女	8歳	近くに学校がないので、立地を配慮してほしい。
35	男	15歳	毎日の学校生活で行事や野菜を育てることを学んで良いと思う。
36	男	7歳	災害時に安全に配慮できるつくり。
43	男	14歳	一人ひとり障がいの程度が違うと思うので、相談できる日数を増やしてほしい。

No.	性別	年齢	自由意見
44	男	14歳	建物はアンケート用紙裏面の参考イメージのような感じがいいのではないかと。送迎で自家用車の利用が多いと思うので、面している道路は狭小道路ではない方がいい。
45	男	11歳	生活しやすい環境にしてもらいたい。
47	女	10歳	福祉避難所としても利用できると安心。
49	男	10歳	水はけのよい運動場、中庭で遊べる環境、分かりやすい順路（特に体育館を利用することが多いので、体育館に行きやすい方がいい。）
51	男	6歳	スクールバス乗降する時など横づけするような場所に（玄関、入口付近）、雨天時でも傘をささなくてもいいような、暑い日は日除け、涼める場所になるような広い屋根をつけてほしい。屋外運動場に駐車するようなことがある時、水はけ悪かったり、水たまり多かったりすることがあるので、そのようなことへの対策をしてほしい。
52	女	13歳	多人数でいられない子のための個別の学習室、身体的障がいの子のためのトイレの増設。
54	男	4歳	駐車場を広くしてほしい。
55	女	17歳	障がいといっても色々な障がいがある。車いすを使用している人、杖を使用している人、みんなが気楽に廊下を歩けるように幅を広めにした方がいいと思う。もちろんスロープも。トイレも1つ1つが広い方が使用しやすい。
57	男	12歳	市街地ではなく、緑が多い自然環境がある場所。自衛隊機の騒音に配慮する。
58	男	10歳	建物自体は2階建てが良い。それ以上だと危ない。敷地は広い方がいい。特に学校に保護者の送迎が必要な場所が多々あるので、駐車場が広くあると良い。バリアフリーでエレベーター等が付いていると体の不自由な子でも通える。体育館にも冷暖房を付けた方がいい。トイレ、手洗い場にはハンドソープが自動で出てくる方を設置すると良い。
60	男	8歳	建物内の移動がしやすいよう分かりやすい形にしてほしい。身体機能が弱い子が多いので、体力がつけられるような施設を取り入れてほしい。羽島特別支援学校にあるようなカフェがあると地域の方との交流ができ、また職業訓練にもつながると思う。
61	男	6歳	福祉の里のように遠く、冬の時期の交通（雪等）に困る場所はやめて、皆が何かあった時にすぐ動くことができる場所に設立してほしい（送迎など）。運動場は小さくてもよいと思うし、プールは友愛プールを借りたりすればよいと思う（週2とか、希望者のみとか）
63	男	6歳	開放的、木を生かした、自然が感じられるづくり。
64	女	5歳	デザイン性のある施設、学校名を変える（よりポジティブな響きの名称）。
66	男	11歳	運動不足になりがちなので、プール、運動場、体育館、中庭、緑地など自由に体を動かせる場所が多いといいと思う。
67	男	12歳	通学が安全にできるような立地
70	女	12歳	建物等は2階までとし、平屋等の設計が良いと思う。
75	男	14歳	安全第一はもちろんだが、子供たちが快適に過ごせる教室を願う。

No.	性別	年齢	自由意見
76	男	9歳	常に清潔であること。安全であること。
79	女	17歳	駐車場の確保
81	男	12歳	学生の特性を十分考慮する。
82	男	2歳	子供たちが快適に過ごせる空間を作ってほしい。問 13 の衛生設備も整えてほしい。
84	男	12歳	冷暖房等の空調設備の充実
85	男	6歳	災害に強い建物
87	男	15歳	1クラスの人数が少ないのは、指導を受ける面ではとてもよいと思うが、ほかのクラスの友達との交流を授業とは別のフリーの時間にとれるようなスペースがあったらいいと思う。知的障がいの子供の多くは、友達が欲しいと思ってもきっかけがなく、また自分から作ることも難しいお子さんが多いように思う。
90	女	8歳	気温で体調を崩しやすいので、空調を教室と体育館ともに設備してほしい。関特支のような室内プールがあるといいなと思う。発作を起こした時に大きい病院搬送するのに遠すぎないように、県総合や中央病院から遠い所にならないと安心。
92	女	16歳	自然が感じられる建物がよい。
93	男	5歳	教室は明るい感じにしてほしい。
94	男	9歳	構造化された教室、動線。安全であること。
96	男	15歳	どなたが見ても支援学校があそこにあると分かる場所が良いと思う。できれば交通の便が良い所が希望。100円バスで行ける所とかバス停が近い場所。
100	男	10歳	各務原市は広いので、立地場所により通えるかどうか変わるので中心部がよい。通常の学校に通う子供も来やすい環境。
102	男	6歳	各教室の大きさは小さめに。学年ごとのクラスを必ず作ってほしい。畑など作業学習ができるような場所を大きく作ってほしい。
104	女	10歳	天候の悪い日のために送迎時、たくさんの荷物や車いすのままでも校内に入る時に濡れるなどのことがないような出入口になっていると助かる。
109	女	8歳	福祉の里みたいな山奥はやめてほしい。通うのが大変。山のおかげで冬に寒かった。
110	男	1歳	通いやすい場所にあること。
113	男	11歳	市内のどこからでも通学できる交通の便利な所につくるべき。
115	男	9歳	程よく便利な場所にあり、自然もある所が良い。
116	女	16歳	現在通っている各務原特支は平屋づくりの校舎でとてもいいと思っている。市内中心部にあるにも関わらず、自然に囲まれ、立地条件もいい。福祉の里のように外れにつくるべきではないと思う。疎外感を感じる。
117	女	17歳	現在の敷地、建物を有効利用し、学びの森でも利用できるものにしてほしい。
119	女	7歳	プールや身体をしっかりと動かせる設備は必要（子供の感覚統合の発達を促す必要があるため）。将来の就労につなげるため、作業学習を行う教室、喫茶店やショップなどの販売スペースの設備、また園芸農作業などの畑、パソコン室などもつくってほしい。
124	女	4歳	市内のどこからでも比較的アクセスが容易な立地に建設して

No.	性別	年齢	自由意見
			ほしい。
125	女	9歳	就職就労訓練ができる充実した教室や設備が備わった学校ができるといい。就職活動に特化した学校が増えるといい。将来の就職についての不安が多いので、選択しが増えるような活動の場を増やしてほしい。
128	男	10歳	子供が学校から1人で帰ってきてしまうので、帰ってこられないように門周辺の施錠。不審者や侵入者から子供を守れるようにも必要。
129	男	7歳	遠方から自身で通学が困難な人もみえると思うので、ほかの学校とは違って駐車場のスペースをとった方がいいと思う。
130	男	6歳	閉鎖的でない、開かれた環境であるとともに生徒が安心して学べるユーザビリティに配慮した施設
136	女	15歳	自立を促す学校生活ができるよう利便性のある施設
143	女	8歳	災害時、知らない沢山の人がいる体育館等では避難が難しい子供が多いと思うので、安心して家族も一緒に避難できる所（防犯からも守られている）つくってほしい。
145	男	17歳	一般の学校の建物のように東西南北が分かりやすい建て方にした方が移動しやすいと思う。ナチュラル志向やデザイン性の高さは悪くはないが、学校というよりは幼稚園のようです。
146	女	14歳	段差が少なく使いやすいトイレ等にする。
147	男	3歳	現在年少なので、小学校に行くようになったら入学できるように早く建設してほしい。
148	女	10歳	機能性、効率性重視。コロナ等、感染症にも対応できる建物に（密にならない、換気しやすい等）。
151	男	6歳	教室の床を大きな音が出ないように材質を考えるよう配慮してほしい。聴覚障害・聴覚過敏な子にとって椅子を引きずった時に出る音は不快であり、必要な情報を聞き逃すことにつながる。
154	男	9歳	岐阜希望が丘特別支援学校のような清潔感のある建物が良い。
155	男	6歳	うちの子は飛び出したりするので、車通りが多くない所がいい。
156	男	12歳	現在の各務原特支は立地条件が大変よく、駅から近く、周りに公園などの施設もあり緑に囲まれている。このまま残してほしい。
157	女	13歳	広いスペースがあって既存の小中学校に近い所があればいいと思う。
158	男	9歳	車でしかいけない場所ではなく、電車やバスなどで通学できるとよい。
162	男	3歳	建物内や敷地内などに防犯カメラを設置してほしい（トラブルが起きても言葉で説明するのが難しいため）。コロナ対策等の新しい生活様式に対応できる環境にしてほしい（オンライン設備や授業の拡充?）。
165	男	10歳	伸び伸びと過ごせるように、自由な発想ができるように、快適で過ごしやすい空間。
166	男	11歳	広々として子供たちが安全でのびのび活動できる施設であってほしい。
168	男	7歳	人気のない所はさみしい。交通の便がよい所がいい。安全、防犯がしっかりした玄関で、かつ広くて明るく子供たちが入って

No.	性別	年齢	自由意見
			いきやすい所であってほしい。
169	男	15歳	2次調理室を作ってほしい。広域の避難場所ではなく、在校生のための避難場所にしてほしい。
172	男	10歳	通学しやすい場所にあること。
173	男	16歳	安心して学校生活を送れるように安全な環境であること。
179	男	16歳	平屋の木造。今の学校はとても気に入ってます。自然豊かで市街地に近い立地も良い。2Fや3F建てでも良いが車椅子の方も安心して過ごせる建物が良いと思う。
181	女	7歳	敷地内は安らげるように緑が多い環境が良いと思います。将来社会に貢献できるような技術を養う施設（料理室、木工室、農業スペース）が充実していると良いです。
182	男	6歳	怖い事件や災害がありますのでまずは子供たちの安全を守ってくれるような施設であってほしいです。その上で子どもたちが楽しく快適に学習ができるようであってほしいです。
187	男	9歳	まわりの人にもふさわしいと思われること
188	男	5歳	玄関を屋根を広くとって（病院の玄関のような感じ）ロータリーみたいな感じで、車を5、6台連なっても大丈夫な様にしてもらえると、そこで先生に預けられれば車をとめていちいち乗せおろしをしなくても楽になりそう。
189	男	10歳	室温や音に敏感なので防音設備やエアコンの数を多くしてもらいたい。雨でも遊べるようなフリースペースを作ってほしい。
190	女	9歳	駐車スペースの広さを確保してもらえるとありがたいです。
192	女	7歳	今回の件とは直接関係ないかもしれませんが、卒業後のことをとても不安に思っています。生活介護事業所が少ないこと、短期入所の受け入れが市内にないことなども含め、考えて下さると幸いです。子どもたちが社会の中にも居場所を見つけられるような、親が希望をもって子育てしていけるような各務原市になってほしいです。
193	男	14歳	息子は問3のような障がいではなかったので将来自立した大人になってもらいたい、周りの人と上手に付き合うことができる大人になってほしいと思っていたので、「かつやま子どもの村小中学校」という学校へ見学相談にいったことがあります。特別支援の学校ではありませんが、自然が豊かで生きることを教えてくれる教育にとっても共感し、近くにあるといいなと思ったので質問の趣旨が違いますがここに書かせて頂きました。
196	男	4歳	安全で広い広場もしくは運動場があると良い。
198	女	10歳	将来的な本人の自立も考えて、家庭の送迎ありきではなく自身で通学できるような立地で利便性を重視してほしい。「自然環境が豊か」という言葉で、奥地へ隔てられていくことのないようにお願いしたい。
199	女	17歳	稲羽中学校の特別支援学級が普通学級と離れすぎて隔離されているようだった。差別にみえた。
200	男	7歳	外で遊べるスペース、遊具があると良い。
201	男	9歳	広い駐車スペース及び屋根、館内の空調設備（教場だけでなく、全体を対象としたもの）、かび防止のための除湿環境の充実（よだれや汗でカビが生えやすいと実感している。）
202	男	12歳	災害などに強い建物、地域の避難所として最新なものであって

No.	性別	年齢	自由意見
			ほしい。
203	男	15歳	通学しやすい立地だとうれしい。
204	女	3歳	雨の日は特に、送迎者が多くなることが予想されるので、玄関の屋根の下は広くとってほしい。肢体不自由の子の棟と、それ以外の子(知的障がいの子)の棟をできれば分けてほしい。たまに合同の授業があったりして交流もあった方がいいが、肢体不自由児と同じ場所で走り回られたりすると危ない時があるので。
205	女	5歳	明るく開放感のある建物。敷地はCエリアが駅から近く利便性が良い。早期の開校を目指してほしい。5年ぐらいで願います。(県立羽島特支の場合、プラン策定から開校まで10年かかっている)
207	男	9歳	防犯カメラの設置、部外者の立入り確認。(警備員の設置)
208	男	8歳	個別の指導ができる個室やパーテーションがあると、ほかを気にせず集中できる時間が作れると思う。
209	男	14歳	開放感のある教室。子供たちが移動しやすい活動室。子供たちの位置を確認しやすい校舎の造り。
211	男	13歳	国道沿いや交通量の多い場所は避けてほしい。色々体験できる施設。大雨や災害で引き取り迎えになった際の駐車場(ルート)。
212	男	12歳	車いすの人を考慮したバリアフリーやエレベーター。
216	女	16歳	体育館の冷房。スクールバスを体育、部活の遠征にも使えるように。
217	男	18歳	体育館に冷房。スクールバス(体育、部活の遠征に使用できるように)。
220	男	16歳	デザインよりも機能性重視
221	男	17歳	子供自身で通学できるよう交通の便がいいところに建設してほしい。
222	男	16歳	災害避難時、一般の避難所では過ごせない障がい児家族のための優先施設にもなってほしい。バリアフリー×ユニバーサルデザインにあふれた優しい施設にしていきたい。
223	男	9歳	それぞれの生徒の障がいなどを考慮した建物。ex)トイレも洋式、和式を作る。電気もセンサーにする、しないかなど。トイレは自動にしない etc
224	男	15歳	敷地内に駐車場があると良い。
225	女	12歳	教室の分かりやすい配置。明るい教室。
226	男	14歳	学校が孤立しないように(〇〇の隣り、〇〇の向かいにある学校)周辺の環境も良く、地域の理解があると良いと思う。
227	女	7歳	廊下のコーナーにはカーブミラーをつける。車でのお迎えや放デイで乗り降りが容易なスペースが玄関付近にあること(ひさしやスロープ)。
228	男	6歳	廊下のコーナーにカーブミラーをつける。玄関付近は、車の乗り降りしやすい庇やスロープがある。階段は弱視の人が見えやすいように、段差の角の部分3cmぐらいを色のコントラストをかえる。
229	男	17歳	車いすが使える広い廊下。自然光がたくさん入る教室。室内プール。
231	男	14歳	肢体不自由児は数も少ないが、車いすでも利用しやすいように

No.	性別	年齢	自由意見
			ユニバーサルな校舎、プール、体育館などにしていただきたい。トイレ、手洗い場もユニバーサルになるようにしていただきたい。
232	男	7歳	立地は色々な施設が周辺にあり、交通の便も良い場所が望ましい。学校の授業や活動にも生かせられ、自然と人との関わりが多くなるのではないかと思う。しかし、児童生徒の健全な心身の育成には、自然環境の多いことも併せて必要だと思う。
233	女	4歳	校舎の廊下や教室などが広々として開放的であってほしい。校舎の中を木目にするなどして、落ち着いたあたたかみを感じる建物にしてほしい。
234	男	15歳	バリアフリーな建物。自力通学できるような立地（バス停、駅に近い）。
239	女	記載なし	医療施設との連携は必須。近くにあってほしい。災害時、福祉避難所となる機能をもたせてほしい。
240	男	11歳	通いやすい場所で、送迎の際の駐車場やバスがあるとよい。自炊など生活につながっていく施設が多くあるといいと思う。太陽光発電など環境に配慮された設備になるといい。

## (2) その他（学校の運営等）について

No.	性別	年齢	自由意見
6	男	5歳	小学校から支援学校に行った場合、普通学級・学校への進学はほぼ無理という通説がまかり通っている状況の改善。普通校との流動性が高い自治体での実践を調査し、取り入れてほしい。
7	女	13歳	ルールが細かくかなり負担を感じる。他県から引っ越してきたので比較すると、親への要求や書類上の細かな指摘や料金のかかる提出物があり気分を害した。
8	女	5歳	小学校～職場まで一貫しているとよい。好きなことを伸ばし、その子が生きがいを持っていけるものを探せる場であってほしい。鹿児島県のしょうぶ学園のような学校ができれば、きっと本人たちの個性や才能が生かせるし、地域の人にも知ってもらえる良い機会になると思う。「障がい者の方が作ったから買ってあげる」というのではなく、思わずほしくなる作品であったり、おいしい食べ物だったり。そうすれば観光客も来るし、学校が開けた場になってよいと思う。それで生きていければ親の私も心から安心できる。
9	女	14歳	自立ができるように自分でできることはやらせるようにする。
12	男	5歳	将来の就労のための土台づくり、生きていく力を身につけさせるための運営を。
13	男	16歳	解りやすい運営。
14	女	4歳	スクールバスの本数やルート確保。市外の特別支援学校へ入学後、市内の特別支援学校が建設された場合、スムーズに転校できる体制を整えてほしい。
19	女	13歳	将来、自立して生活できるような模擬商業施設（飲食店、パン屋、八百屋）をつかって買い物や店の運営などが体験できるとよいのでは。地域の住民との交流や店舗経営者との交流をつくり、将来就職できるつながりを作るとよいのでは。
20	男	5歳	専門的支援に力を入れてほしい。
21	女	2歳	スクールバスを小学部から利用できるようにしてほしい。いく

No.	性別	年齢	自由意見
			ら各務原市内でも鶴沼だとうちから 30 分以上かかる。
22	女	5 歳	障がい児教育に精通している先生が多くいる学校になるといい。
23	男	3 歳	最低限の社会性を身に付ける。
27	男	8 歳	個別の毎年度の引継ぎ。福祉の里や教育すてっぷ、市教委、医療の連携。
28	男	10 歳	セキュリティ、個人情報保護
30	女	0 歳	仕事と育児の両立にあたり、時間外対応（早朝や夕方以降）を取り入れてほしい。保育園のようなシステムがあれば心強い。
32	男	15 歳	コミュニケーションで人との関わりを広げる教育。自立に向け、社会参加を目標とした教育。
33	女	8 歳	もっとプライバシーを大事にしてほしい。先生が個人情報を流出しすぎ。
35	男	15 歳	先生たちが子供たちのことを考え親に伝えることで、一人で悩むことがなくなったことはもっと増やすことだと思う。
36	男	7 歳	専門的な知識や経験値がある先生がなるべく多い方が親として安心できる。見学等自由にできる。
43	男	14 歳	学校で生活している時等、家庭では違った態度などがあれば知らせてほしい。もしあれば今後の生活にどのように対処すべきかアドバイスがあれば教えてほしい。
44	男	14 歳	民間の障がい児教育に関わっている人の意見を取り入れることができる。ほかの支援学校と意見交換ができるといい。
47	女	10 歳	防犯に留意しつつ、保護者、地域住民、同年代の子供等と交流を持てるスペースや行事があるといいと思う。
51	男	6 歳	PT、OT、ST のような訓練を定期的に受けることができるとありがたい（特に小学部。各務原市では福祉の里以外にそのような訓練ができる場所がないので）。休日等に運動場や遊具等を開放してほしい。人が多いところは苦手だったり、遊べる場所が限られていることから、休日に我が子らが遊べる場所を市内にほしいと思う。もしくは、健常児の子も『障がいある子と一緒に遊ぶ』を目的とした場所として休日に提供してほしい。
52	女	13 歳	学習支援のための先生の人数確保、地域住民ボランティア（？）等の確保。
53	男	12 歳	地域との交流ができるように（地域の人自由に入出りできるスペースなど）なるといい。
54	男	4 歳	スクールバスを充実させてほしい。
57	男	12 歳	将来の自立に向けた支援を積極的に。
58	男	10 歳	学校（支援学校）ができるとその周辺にそれに関係した施設ができてくると思う。周辺の住民の理解を得ることも重要になってくると思う。
60	男	8 歳	将来、自立することができるよう作業場など体験ができるようにして欲しい。自立といっても 1 人で何でもできるのは難しいので、地域の方に知っていただけるよう交流できる形を作りたい。
61	男	6 歳	卒業後、各務原で仕事をし、暮らせるモデルプランを作りたい。パンを作ったり、紙袋をつくったり、生きることに重点を置いたプランがあると魅力があると思う。
62	男	10 歳	知的には遅れがない発達障がいの子供でも通える、就職や自立

No.	性別	年齢	自由意見
			に重点を置いた学校に通わせたいと思っている。
67	男	12歳	社会に出た時に自立できるような教育と、卒業後の進路など相談にのってほしい。
71	男	9歳	より地域の支援の拠点を意識した運営を目指してほしい。
72	男	8歳	これから自然災害など今まで起きないことが起きてしまう時代なので、すべての人、特に体の不自由な方や障がい者が突然起きても対応できる所ができればいいと思う。
75	男	14歳	支援やサポートしていただける人材の増員。実際、支援学級で指導されている先生で一部の方が子供に対して理解されていない先生がいる（小学校）。そういう先生の教育も願います。
76	男	9歳	地域の人との交流（将来的に）。障がい者（児）に対してより専門的な知識を持った教員の確保。
79	女	17歳	保護者の教育
81	男	12歳	小中高との交流を多くする。将来（卒業後）の就業において、より多くの選択肢ができるようにする。
82	男	2歳	地域から孤立することがないように子供たちを地域で育ててほしい。将来、子供たちがこの地域で生きていくことができるようにそれが親の願い。医療スタッフの配置。
84	男	12歳	共働きの家庭でも仕事に影響のない時間設定
85	男	6歳	早期に学校建設を望む。
87	男	15歳	我が子のために学校に行く機会が普通校に比べて多いのに、人数が少ないために学校保護者のなんらかの役員を全員がやらなければならない状態は、仕事をしながらでは少しつらい。協力はするが、役員等、最小限になるようにしてほしい。
90	女	8歳	先生の人数を充実させてほしい。看護師を入れてほしい。
93	男	5歳	早めに通えるようにつくってほしい。
94	男	9歳	特別支援のスキルの高い教員の配置。地域に開かれた学校であること。
95	男	7歳	親も運営に参加できる仕組みもより取り入れてほしい。
99	男	6歳	通学バスの充実（希望者が全員無理なく乗れるように）
100	男	10歳	土曜日に外部と交流できる活動。幅広く利用できる料金の設定。
102	男	6歳	学校に通う本人はもちろん、その家族をケアできるような運営であってほしい。健常者目線はなしで。
109	女	8歳	読み書きも大切だが、将来の就業を意識した内容にしてほしい。（親亡き後のことをいつも考えている。）
110	男	1歳	子供が楽しく通える。子供が少しでも自立した生活ができるような教育や活動。
113	男	11歳	多くの職員が配置され、個々の生徒に対応できる体制をとってほしい。
115	男	9歳	障がいといっても様々で、同じ子はいないと思うので、どんな個性を持っている子であっても充実した学校生活を送れるよう、柔軟に色々なことに対応してほしい。
119	女	7歳	スクールバスの停留場が自力で歩いて行ける距離（最低でも小学校の校区ごとに停留場をつくる）。作業療法、言語療法、理学療法が学校でも受けられたら良い（リハビリ施設と人材の確保）。
122	男	7歳	社会に出て生きていけるような支援、自立を最終目標にお願い

No.	性別	年齢	自由意見
			したい。
129	男	7歳	可能ならば何かを作って売ったり、どこかで職業の手伝いができる場を設けてもらい、そのお金（自分たちが働いた）で学校で必要なものを買うなど、より将来を見据えた自立のための学習を兼ねた運営をしてほしい。
130	男	6歳	その場で働く方が気持ちに余裕をもって働ける体制
135	男	10歳	それぞれの個性を生かした支援をしてほしい。
143	女	8歳	小中高との交流、卒業生の方との交流、地域の方との交流、防犯を確保して頂いた上で、色々な人との交流も大切にして頂ける学校であるとありがたい。
145	男	17歳	障がいの有無に関わらず、低学年のうちには交流した方が良くと思うので、小学部から特別支援学校に通う子の選定には最も慎重にと思う。小中学の特別支援学級から公立の高校を目指した方は大変苦勞されて中学校の通常クラスに戻してみえた。学校が違うとなると可能性をつぶすことになりかねない。
146	女	14歳	これからのお子様たちのために早く建設してあげてほしい。
148	女	10歳	子供たちの心の拠りどころであってほしい。
151	男	6歳	学校のホームページの更新を定期的に行ってほしい。情報が古いままになっている学校もあるので、特別支援学校を考えている家庭が情報を得られやすいようにすると良いと思う。
155	男	6歳	医療との連携ができてほしい。
157	女	13歳	スクールバスで通学ができれば良いと思う。
158	男	9歳	卒業後の進路を紹介してほしい。手に職をつけさせてほしい。
160	女	10歳	手帳の取得に関わらず、ある程度柔軟に受け入れるようにしてほしいし、相談窓口を専門に用意してほしい。
162	男	3歳	市内の小中高に対して、特別支援教育や障がい者への理解を深められるような研修や教育を施せる拠点校としての機能があってほしい（合理的配慮と子供のうちから互いに学べるように）。保護者の相談窓口があると良い。
166	男	11歳	高等部卒業してからの社会へとつながるようにしてほしい。
168	男	7歳	市内すべての障がいのある子供が平等に通えることをお願いしたい。
169	男	15歳	看護師が常駐してほしい。市民に公聴会を開いてほしい。市内に住む重度の肢体や病弱にも対応できる設備が欲しい。
172	男	10歳	情緒障がいの子供（知的障がいなし）の進路が少なく、高校以降のような進路を選ぶべきか不安。そのような生徒の居場所を作ってほしいと思う。
173	男	16歳	継続した「いのちの授業」をうけることで命の大切さを感じてほしい。地域とつながっていくこと。
179	男	16歳	知識や経験のある先生の配置。（うちの子は、特別支援学級時代、知識や理解のない担任にあたり情緒不安定になり、服薬しなくてはいけないケースに精神的に追い込まれました。）
181	女	7歳	各務原市民と学生の交流の場となるように、販売店やカフェを設置して相互に楽しくて触れ合えるような憩いの場になり、年齢や障がいを問わず同じ地域で共存していくのを念頭に運営して頂けると良いと思います。
182	男	6歳	経験、理解のある先生がたくさんいてほしいです。（学校で子どもたちが頼りにできるのはやはり先生だと思うので。）

No.	性別	年齢	自由意見
187	男	9歳	安心して過ごせる環境
188	男	5歳	災害があったときにそこに避難しても良いように生活用品や食べ物など備蓄できるようにしてもらえるとありがたい。
189	男	10歳	家族がいつでもフリー参観できるようにしてほしい。先生を多くつけてほしい。学費は安くしてほしい。
190	女	9歳	医療的ケアが必要な児童もスクールバスが利用できると嬉しい。
191	男	11歳	卒業後の進路の確保のための会社、施設等との連携。市との連携。
196	男	4歳	目が行き届く位の人数の職員がいると安心して子供を通わせられると思う。
197	男	16歳	もっと早く整備を始めてほしかった。
198	女	10歳	卒業生・在校生・未就学児の境なく、障がいをもつ子とその家族が意見や知見を交換でき、よりよい各務原市になるような、マイノリティの意見を集約できるような場になるよう、交流の拠点となる機能をしっかり持たせてほしい。
201	男	9歳	PTA活動は最小限に。(「〇〇祭り」等のイベントを行うと保護者が大変)
202	男	12歳	地域の団体やサークルなど、地域住民の方々が気軽に利用したり見学できるなど、地域になじむ学校が理想。
204	女	3歳	医療的ケアを安全に実施していただくために、看護師さんを十分な人数で配置していただきたい。医療的ケアがある子や体調を崩す子が多くなりそうなどという点から、保健室やそれに準ずる部屋は大きめが良いと思う。
205	女	5歳	未就学時期から小中高と一貫した一人一人の特性に合った支援をよろしく願います。
206	女	14歳	自分でできることを増やしたり、好きなこと、得意なことをみつけられるよう、いろいろな体験をさせてあげられるとうれしい。
207	男	9歳	就職の斡旋(身障者枠)。県立岐阜女子高校の跡地を利用。
208	男	8歳	指導する先生によって、一人一人に合う合わないがあると思うので、知識や資格だけでなく、本人の個性に合う先生をつけてほしい。男の子だと女の先生の方が信頼するところがあると感じている。
209	男	14歳	スクールバスの利用
211	男	13歳	卒業後も相談できたり就職支援を続けてくれる。
212	男	12歳	教員の質。ある教員に怒鳴られ、ほかの保護者と比較され、捨て台詞をはかれたことがある。こんな教員がいる学校には通いたいとは思わなくなる。
220	男	16歳	生徒が少なくなっているので、PTAなどのあり方。学校と保護者との連携など。
221	男	17歳	将来の就職につながるような作業学習を充実してほしい。
223	男	9歳	専門的知識を持ったスタッフに関わってほしい。カウンセラーも必須。
227	女	7歳	タブレット授業の導入(知的障がいの子はコロナのように長期休校になると習慣がとぎれ生活のリズムがつかれないため、継続的に授業する必要がある)。外部講師によるOT、STなどの授業を月1回ぐらいやる(先生の勉強の場にもなり、生徒にとっ

No.	性別	年齢	自由意見
			でも刺激になるため)。
228	男	6歳	タブレット授業の導入。外部講師による授業を月1回ぐらいやる。先生の授業の質の向上につながる(特にST、OTなど)。
231	男	14歳	現状からすると、肢体不自由児に対する教育も充実させていたきたい(高等部は特に今までの絶対数が少ないと思うので)。
233	女	4歳	子供自身の能力が引き出せるように、いろいろな経験や活動の場を与えてほしい。その地域に根差した親しみのある学校になってほしい。
234	男	15歳	販売体験などができ、地域住民も来所できるカフェなどを学校に併設できるとよいと思う。
238	男	1歳	担当教員・職員の方々が心身共に健康に働ける環境を形成していただければそれが児童の健全な成長に繋がると思う。
239	女	記載なし	職員の確保(より専門性をもった)。看護師の常駐。
240	男	11歳	将来の就労につながっていく施設があるといいと思う。専門性のより高いスタッフや教員が数多く配属されるといいと思う。発達検査などが学校で受けれるといい。

(2) 教員

●これからの各務原市内につくる新しい特別支援学校について

問 A 学校の場所について重要だと思うこと（3つまで）

学校の場所について重要だと思うことは、「公共交通機関の駅（バス停）に近いこと（62件 36%）」が最も多く、次に多いのが、「福祉施設又は医療機関が近くにあること（37件 22%）」となっています。

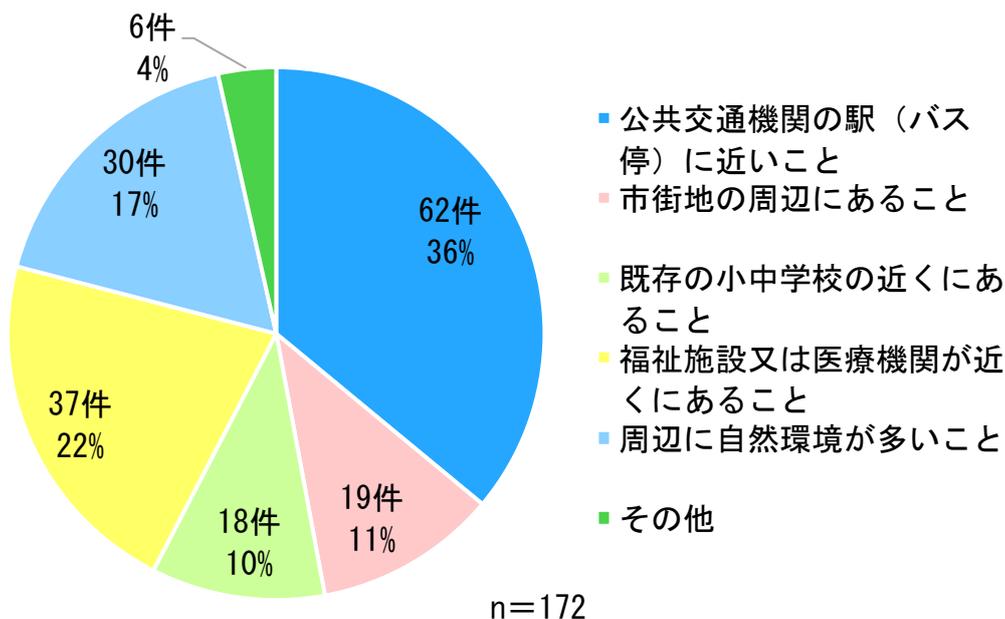


図 1-16 学校の場所について重要だと思うこと

その他の内容
市の中心近くにあること
市の中心（どの校区からも近い）
通学時間が短いこと
自力登校ができるのであれば、公共交通機関の駅（バス停）に近いこと
スクールバスが完備していれば郊外にあってもよいと思う。
治安がよい地区、町

### 問 B 学校の敷地利用について、特に優先すべきだと思うこと（3つまで）

学校の敷地利用について、特に優先すべきだと思うことは、「校舎（66件 35%）」が最も多く、次に多いのが、「体育館（50件 27%）」となっています。

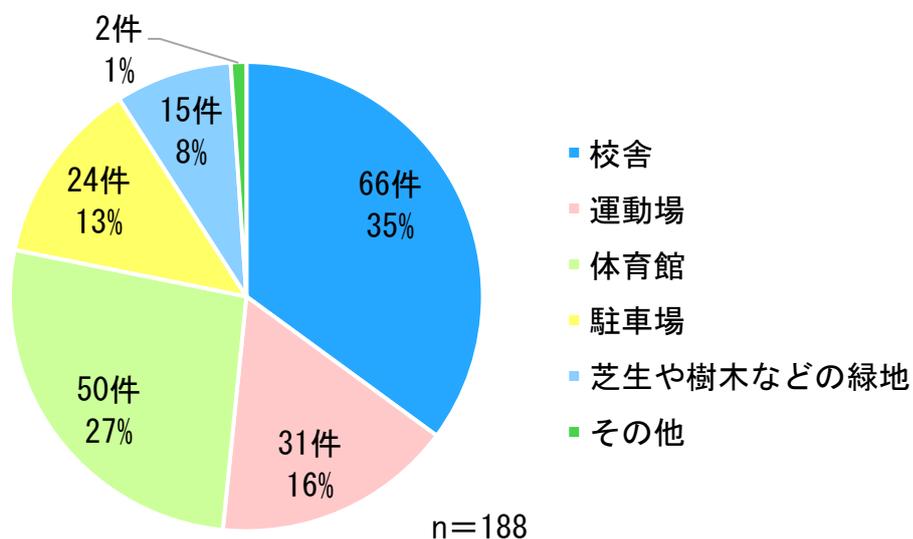


図 1-17 学校の敷地利用について、特に優先すべきだと思うこと

その他の内容
安全に安心して遊べる広場
送り迎え等がスムーズにできること

### 問C より充実させたほうが良いと思うもの（3つまで）

より充実させたほうが良いと思うものは、「陶芸や木工等の作業学習を行う特別教室（51件 26%）」が最も多く、次に多いのが、「販売体験や地域住民交流ができるラウンジ（39件 20%）」、「農業等を体験できる屋外施設（36件 18%）」となっています。

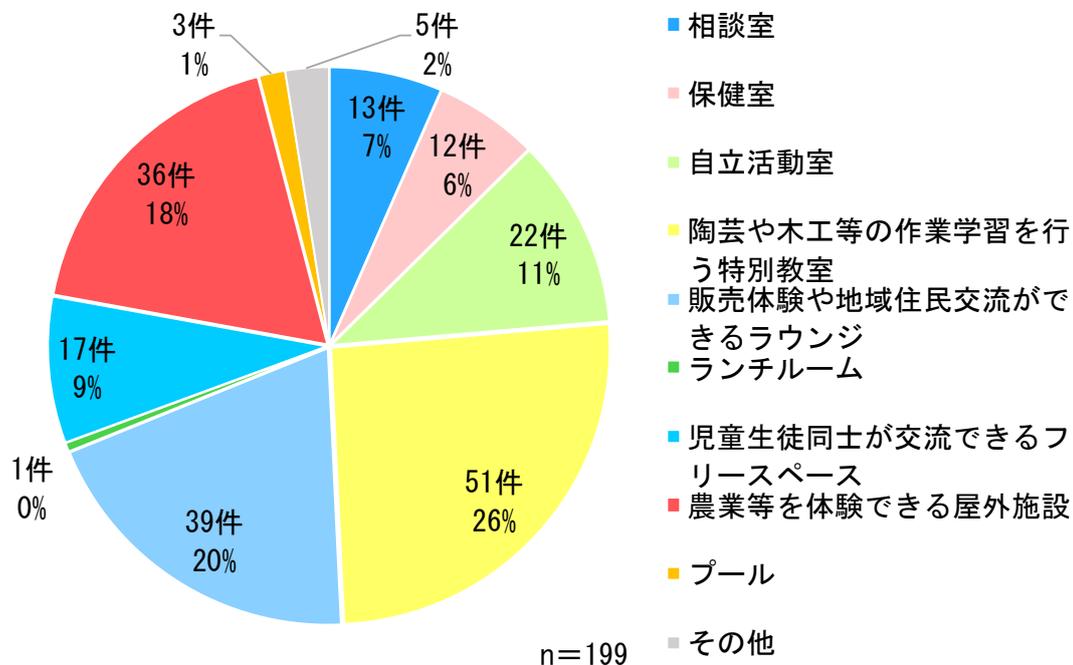


図 1-18 より充実させたほうが良いと思うもの

その他の内容
教室内の環境の充実、個人個人のロッカー（服もかけられるなど）
プレイルーム
廊下やエレベーターなどの移動場所や機械
宿泊できる施設
清流のように宿泊棟のような施設もよいかと思う。 一人で泊まり一人で生活するような学びもでき、自立につながるのでは。

### 問D より積極的にとりいれるべきだと思う機能（3つまで）

より積極的にとりいれるべきだと思う機能は、「児童生徒を災害から守る機能（32件 17%)」、「地域住民等との交流の拠点となるための機能（30件 16%)」、「小中高との交流の拠点となるための機能（32件 17%)」が、多くなっています。

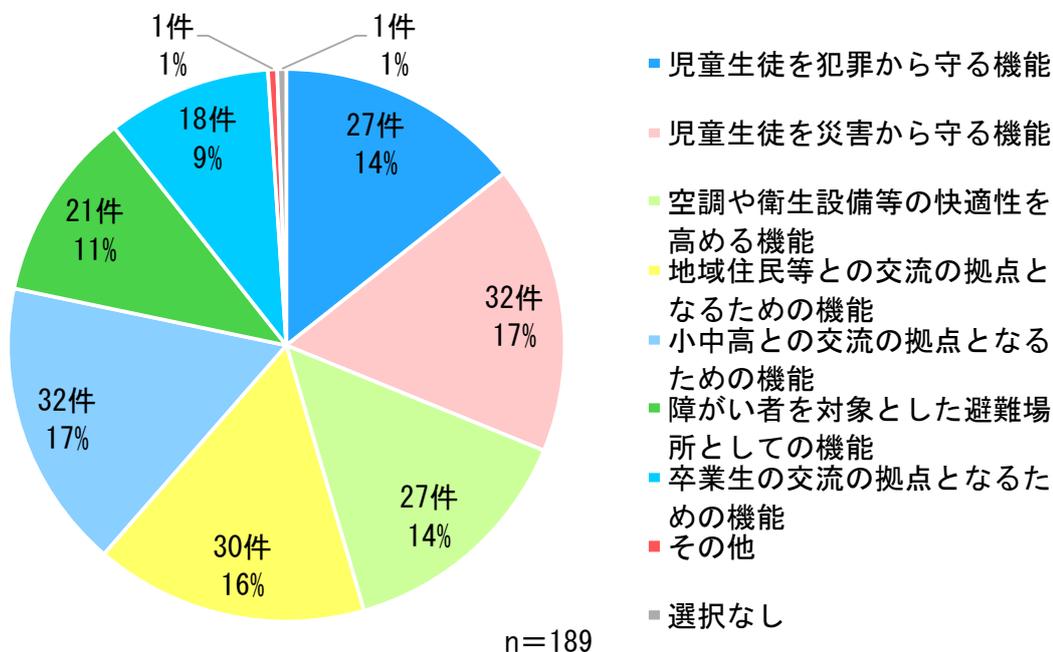


図 1-19 より積極的にとりいれるべきだと思う機能

その他の内容
特別支援教育のセンター的機能

問 E 新たに小学部から高等部までの教育を行う特別支援学校を各務原市に建設するにあたり、特に配慮すると良い点など（自由意見）

調査票では、質問の最後に自由記入欄を設け、本調査などに関することを自由意見として記入していただきました。原則として記入内容をそのまま掲載いたしましたが、明確な誤字脱字等は修正を行っております。また、個人や団体が特定される内容は割愛させて頂いております。

(1) 学校施設（建物や敷地等）について

No.	自由意見
3	ゆとりをもった教室配置。木材を使用。市内からのアクセス。
4	外の光がよく入ると学校内が明るく過ごしやすくなると思う。
7	地域の自然や文化性を生かした快適で豊かな施設であり、省資源・省エネルギーに配慮があると思う。特別支援教育への理解を深める場、地域住民の生涯にわたる学習の場、まちづくりの核となる施設だとよいと思う。
8	将来を見越して広い敷地に余裕のある建物を建設してほしい。後からやり直しはできないので思いきった予算措置をとってほしい。
9	できるだけ市の中心部に近いところ（交通が不便だと来られない。スクールバス等が充実していれば別。）
10	地域の人との交流、お店（作ったもの、クッキー・パン）やカフェなどがあると良いのでは。
13	これからの時代を考えると情報機器が充実していて、子供たちがそういったものを使うことができる環境だとよい。
17	誰もが通りやすく、周囲の道幅等、余裕があり、広々として開放感があること。また死角が生じない見通しの良い構造が安心だと思う。かつ、周囲に人目が多い環境がよいと思う。
20	駐車場が屋根付きだと雨の日ありがたい。体育館も空調設備。
22	ユニバーサルデザインでゆったりとして明るい雰囲気気持ちよく学べる場所になってほしい。
23	閉鎖的な施設ではなく地域等に開放されていること。外観も含め、市民（地域住民）が誇れるような明るさがあること。
24	安全。落ち着いた環境。個に対応できる施設。
25	陶芸や木工等の作業学習や農業体験ができる屋外施設（畑）など、将来の就労につながるような体験学習ができるとよいと思う。
26	交流スペースのような場所があるとよいが、基本的には年齢発達と障がいに応じた段階的な教室づくりがなされるとよいと思う。
27	とにかく交通の便のよいところが望ましい。スクールバスなども利用しやすいようにしてほしい。
28	児童生徒が自分で通うことができる場所だと良い。
30	コロナ対策を考えた通気性のある建物。3密を防ぐ建物。
31	一人一人の障害に応じた教育が受けられるような教室・特別支援教室の整備。職員同士や専門家との連携がしやすい職員室や会議室等の整備。ゆったりと過ごせるスペースの確保。
32	広めの廊下、適切な高さの天井など、子供が圧迫感を感じない校舎であるとよい。

No.	自由意見
33	水害の心配のない、どちらかという山あいの方で、畑や田んぼの利用がしやすいところが学習（体験的）をすすめるのにありがたい。
34	肢体不自由の児童生徒が快適に学べる環境を作ってほしい。（広い廊下、エレベーターの設置、温水プールやジャグジー等、体育館に床暖房や空調等）
35	災害が起きた場合の拠点として機能するような建物、立地にすると良い。また、児童生徒の自立を促すためにも公共交通機関で通えるようにすると良い。
37	就労支援が充実した施設にしてほしい。
38	余裕のある間取りにしてほしい。家具なども備え付けにし、収納スペースも多めがいい。
39	小中高の各部の児童生徒が交流し、関わり合いながら自立のための力を伸ばせるようにすることを大切にしたい。
40	公共交通機関の便の良い所
41	閉ざされた空間にならないよう、幼保小中高との交流はもちろんのこと、市民にもできるだけオープンにできるとよい。障がい者教育について理解が進み、共生できる社会づくりにつながると思う。（学校運営にもかかわる）
42	自然が多い中で、いろいろ学べるのが大切だと思う。
43	動線。自然。
44	バリアフリー、エレベーターの設置は必要。分かりやすい校内配置（迷わない校内）
45	ゆとりある空間を確保することが大切だと思う。また、校地内に緑（自然）が豊かな環境が望ましい。
46	車いすも利用できる広い廊下、バリアフリー、段差のないつくり
47	市役所の近くのままが良い
48	通学しやすいことが大切だと考える。生徒の活動を考えたときにある程度移動がしやすい場所、地域との関係が希薄にならない場所で考えていくといいのでは。現在の各務原特支のような環境がベストと感じる。
50	バリアフリーの施設であることはもちろん、多様な障がいに対応できる施設であってほしい。
51	地域に開かれた、明るいイメージの学校にしてほしい。また特別支援教育や障がい者に対する発信や相談等の中心施設になってほしい。
52	どの子にとっても安全で安心して生活できる環境を整えていければいいと思う。
53	立地場所が市の中心部となるようにしたい。（那加地区に偏らない）
56	教室数の確保（学級数だけではなく個別又はグループ別で複数使用できるようにする。玄関前、玄関のスペースを広くし、送迎などがスムーズに行えるようにする。廊下にベンチを置くなど、廊下スペースが充分にあるように、又、気軽に交流できるスペースを確保する。物が多くなることが予想されるため、保管場所が必要）。
57	余裕のある施設（グラウンド、体育館等）、使用しやすい校舎（長方形を基本とした教室）を建設してほしい。
58	スクールバスのためのバスヤード（雨天時に濡れないようにするため）。校舎前（玄関前）をロータリー状にすると、送迎の車などの動きが楽になる。教材等を保管するためのスペースを多めに確保する（教材室、教材保管室）。
59	作業学習の充実（社会とのつながり）の設備。落ち着きスペース。
60	バリアフリー。他国の言語での表記。

No.	自由意見
61	障がいに応じた施設の充実（バリアフリー、エレベーター、トイレ等）
62	スクールバスが完備していれば郊外にあってもよいと思う。作業をする教室（中、高等部向け）を充実させてほしい。運動機能訓練などができる（プレイルーム、トレーニングルーム、リハビリ施設、プールなど）があると良いかと思う。
63	バリアフリーの施設。部屋（教室）の中に自分が隠れたりできるシェルターのような小さな小屋のようなものがあるといい。ほかへ行かなくてもその中に入れば落ち着けるし、担任等も目が届く。角のある棚は危険なので、丸みのある棚などを使用したり、一人一人の棚（ロッカー）が移動できるといい。
64	明るく開放感があり、心がおだやかになるような建物であるとよい。
65	生徒たちが多様な活動ができるような環境をお願いします。体温の調節ができなかったり、肢体不自由であったり、それぞれの障がいに対応できるような生活環境をお願いします。
66	今後人数が増えることを考え、対応できるようにしてほしい。重い障がいの生徒がいることを考え、危険のない建物。たくさん体を作ってあそべる場、できれば自然の多いところで体を動かせるように。

## (2) その他（学校の運営等）について

No.	自由意見
1	地域のセンター機能として特別支援教育を啓発できる、サポートできるような充実した学校を建設・運営していただきたい。特に、発達障害への対応に悩む教職員をサポートできる学校であってほしい（保護者支援も）。
2	通学に困る児童のためにバスが充実していると良い。高等部の生徒が安全に通学できるとよい。
7	地域の特別支援教育のセンター的機能を果たしていただけるとありがたい。主体的に進路を選択してキャリアを形成していくために、就職を含む進路の相談等の充実をのぞむ。
8	学校関係者だけでなく、いろいろな方面の意見を受け入れていくこと。
9	どんな教育をしているのか、一般の人々に分かるように働きかけてほしい。（入学への抵抗感を軽減するため）
11	小中高とどのように交流することがお互いに有益なのか、そのノウハウを確立してほしい。地域住民の理解、支援が得られるよう、建設の説明会を丁寧に行う。
12	小中の教職員が相談したり、研修したりできるようにしてほしい。児童・生徒の社会的自立が図れるように、12年間のスパンでの教育を展開してほしい。送迎バス（特に小学部）があるとよい。
13	小・中・高とめざす所は違うかもしれないが最終的には子供たち一人一人が自立することが大切。さまざまな体験や活動、また小～高まで見通した教育の充実を図り、一人一人の子供に力をつける、そんな学校であってほしい。そのために、校区の小中や地域や関係機関とのつながりをより強くし、市立ならではの学校経営であることを期待したい。
14	補助具、教科書等必要になる物品が購入できるだけの予算確保。前述のものを収納できるスペースの確保（各教室内にも）
17	清流高等特別支援学校の喫茶がすばらしいと感動した。校内に地域とふれ合い、かつ作業や接客を実務として体験できる場があることは大きな成果を得ると思う。宣伝や運営も生徒の手が入っておりさらに感動した。あのような体験型学習を取り入れると良いと思う。

No.	自由意見
18	障がいの重さによる細かい配慮
22	障がいがあることは1つの個性として認められ、オープンで各務原市の特別支援を啓発していく中心校になっていくとよいと思う。
23	コミュニティ・スクールを採り入れるべき。(市内小中学校と同様に)
24	研修できる場。(今までもやっていただけていた。)
25	地域の小中学校と交流できるようなカリキュラムがあるとよい。そのための少し広めのフリースペースなどがあると有効。
30	コロナ対策、3密を防ぐカリキュラム。
31	一人一人の教育的ニーズに対応できる特別支援教育の担い手(教員)の育成。高等部卒業後の就労に向けた計画的なキャリア教育や企業との連携。地域人材を活用できるようコミュニティ・スクールの立ち上げ。
33	市内の小中高に開かれた学校であってほしい。
34	各務原市の特別支援学校として特別支援教育の拠点校の役割を果たしてほしい。相談機能や教員の研修機関の充実を期待。
35	小学部から高等部まで一貫して進路を意識した教育を行っていけるような運営体制ができると良いと思う。
36	スタッフの充実。非常勤でもよいので行政、医療とコーディネートできる人。SSWの在駐。
37	入学案内及び学校生活、進路について充実させてほしい。
38	第三者の意見などが反映されるものにするといい。
39	より広い立場の人からの意見をもとに、設置後も「共働」しながら学校を支えていけるようにすること。
40	人を多く配置していただきたい。
42	一人一人の個性が伸ばせるカリキュラム。
43	個に応じた教育課程。
44	市内の特別支援学級が相談できる場を設定してほしい。
45	地域住民との交流を深めつつ、子供たちが自立を目指して学ぶことができる学校であってほしいと願う。地元の自治会などと連携しつつ、多様な活動を展開する中で一人一人の学びが深まると良い。
46	居住地校交流の継続、特別支援のセンター的な役割
47	関特支のように類型で学べるようにしてほしい。
49	教職員間の人事交流も定期的に一定人数行われると良い。
50	C判定でもあえて支援学級に入級する児童・生徒は多い。「市にないから仕方ない」という理由だけでなく、地元の友達と交流したい、一緒に育ちたいと思ってみえる保護者が多い。地域の小中学校との交流を多くしてほしい。
51	周辺の学校や社会福祉施設との自然な交流や協力・支援が望ましい形でできるような体制や運営が広い視点で工夫していけると良い。
52	特別な区域にならないように、地域住民や小中高との交流が活発に行われ、市全体で自然に支援していく体制が整えられるといいと思う。
53	卒業後の進路を視野に入れ、小学部からの積み上げのある自立、職業指導や活動に力を入れる。各務原市の特別支援教育の拠点として、人的交流や指導者の育成を図る。
56	ICT教育の充実。知的障がい対応クラスには帯状で分かりやすい時間割。給食配膳、清掃業務の支援として地域の応援。教員の研修、研究が充分行える

No.	自由意見
	ための時間割や授業、教育課程についての十分な検討。
57	教育委員会との連携のとりやすい分かりやすい体制（義務教育、高等部）が必要だと思う。
58	市立の小・中学校と県立学校の職員の人事交流。
60	専門的な方々。
63	通常学校の子供たちが、偏見差別的な目で見ないで「共存して生活する」という方針が大切だと思う。それは地域も同じ。交流やオープンスクール等を多くしたり、「あしたの会」のようなスイーツ作りや販売等を高校などなら購買部に入れてもらうなど広く知ってもらったりする。教員を増やして一人あたりの児童の対応を5人程度にすると負担が減ると思う。アシスタントは別で必要。
64	小中高との連携を密にすること。
66	小中の先生方も学べるように支援センター機能をしっかりしてほしい。将来の生活を考えた授業内容を小学部からお願いしたい。
67	特に地域（企業を含む）との交流を大切にし、閉鎖的にならないようにしたい。

### (3) PTA 役員

#### ●これからの各務原市内につくる新しい特別支援学校について

##### 問 A 学校の場所について重要だと思うこと（3つまで）

学校の場所について重要だと思うことは、「公共交通機関の駅（バス停）に近いこと（29件 27%）」と「福祉施設又は医療機関が近くにあること（29件 27%）」が最も多くなっています。

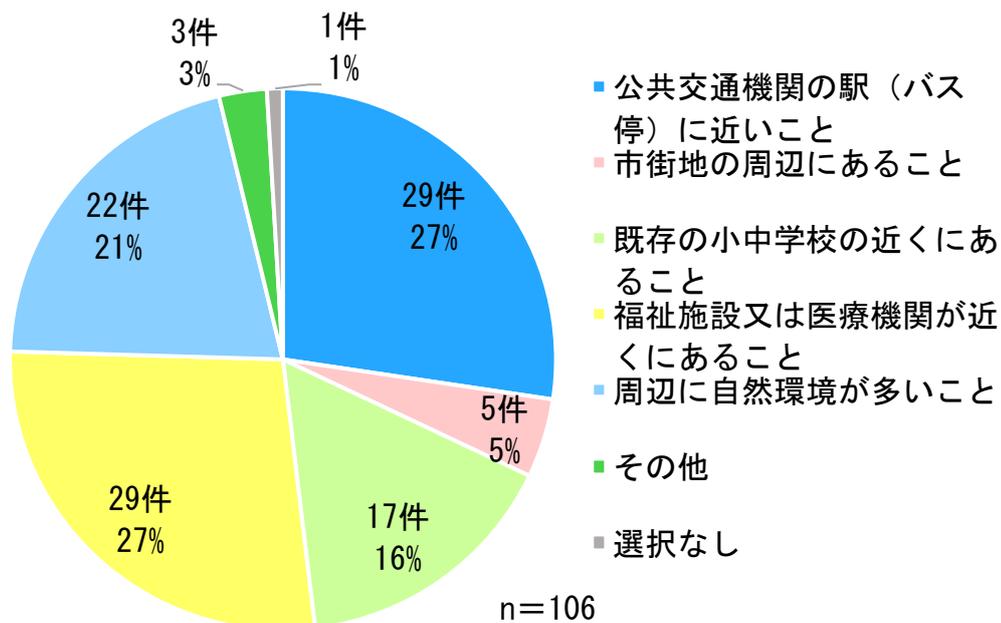


図 1-20 学校の場所について重要だと思うこと

その他の内容
自宅から遠すぎないこと
送迎しやすいこと
送迎が便利な場所

### 問 B 学校の敷地利用について、特に優先すべきだと思うこと（3つまで）

学校の敷地利用について、特に優先すべきだと思うことは、「校舎（36件 32%）」が最も多く、次に多いのが、「駐車場（23件 20%）」となっています。

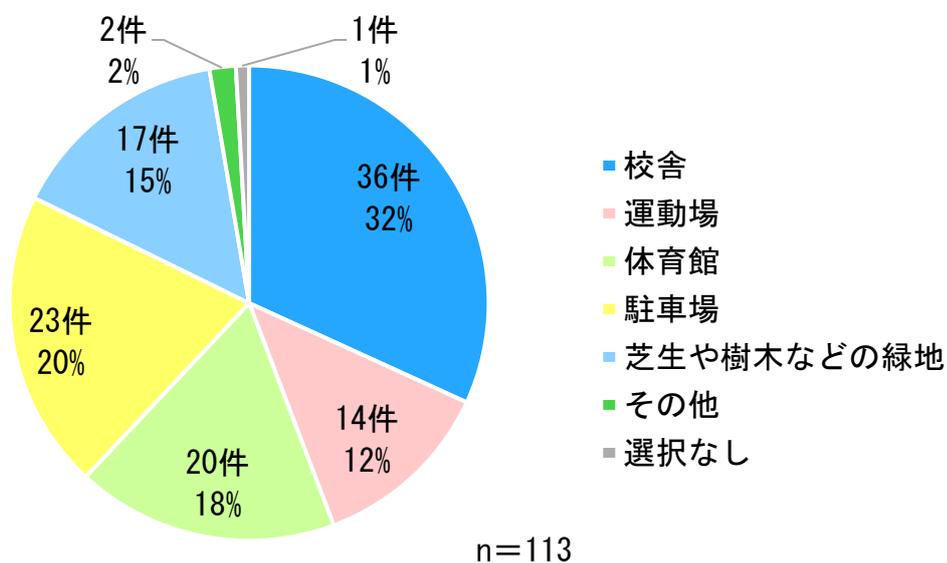


図 1-21 学校の敷地利用について、特に優先すべきだと思うこと

その他の内容
トイレ
記載なし

### 問C より充実させたほうが良いと思うもの（3つまで）

より充実させたほうが良いと思うものは、「自立活動室（29件 23%）」が最も多く、次に多いのが、「農業等を体験できる屋外施設（19件 15%）」、「陶芸や木工等の作業学習を行う特別教室（18件 14%）」、「販売体験や地域住民交流ができるラウンジ（18件 14%）」、「児童生徒同士が交流できるフリースペース（16件 13%）」となっています。

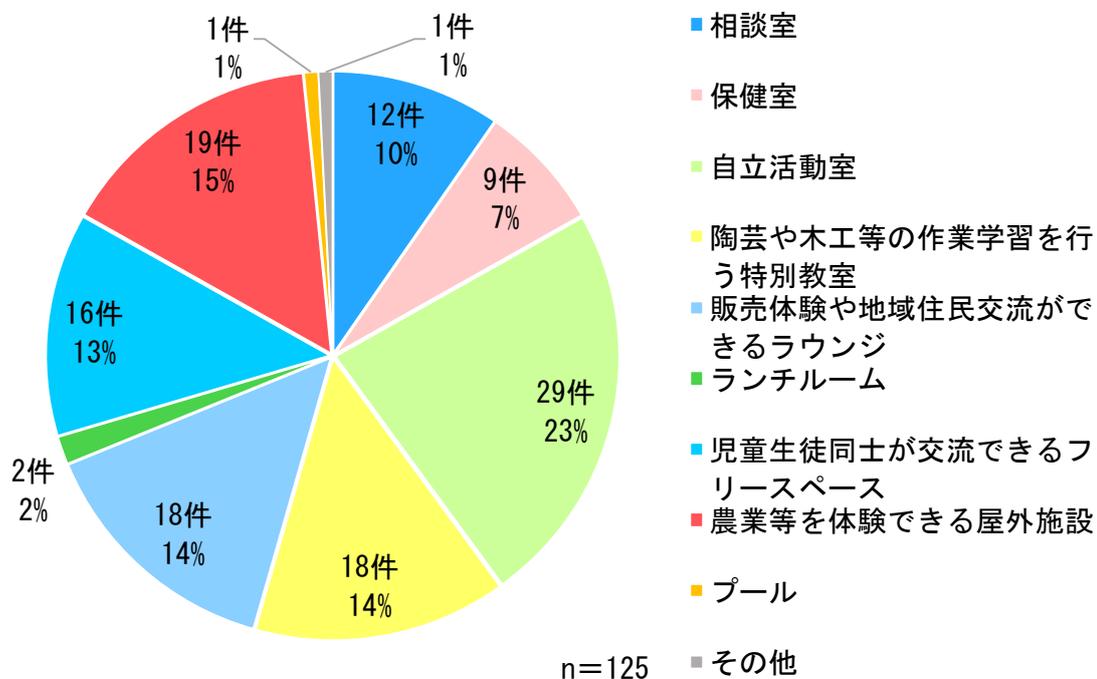


図 1-22 より充実させたほうが良いと思うもの

その他の内容
IT やテクノロジーを取り入れた活動や体験ができる仕組

### 問D より積極的にとりいれるべきだと思う機能（3つまで）

より積極的にとりいれるべきだと思う機能は、「児童生徒を犯罪から守る機能（20件 17%）」、「児童生徒を災害から守る機能（26件 21%）」、「障がい者を対象とした避難場所としての機能（22件 18%）」が、多くなっています。

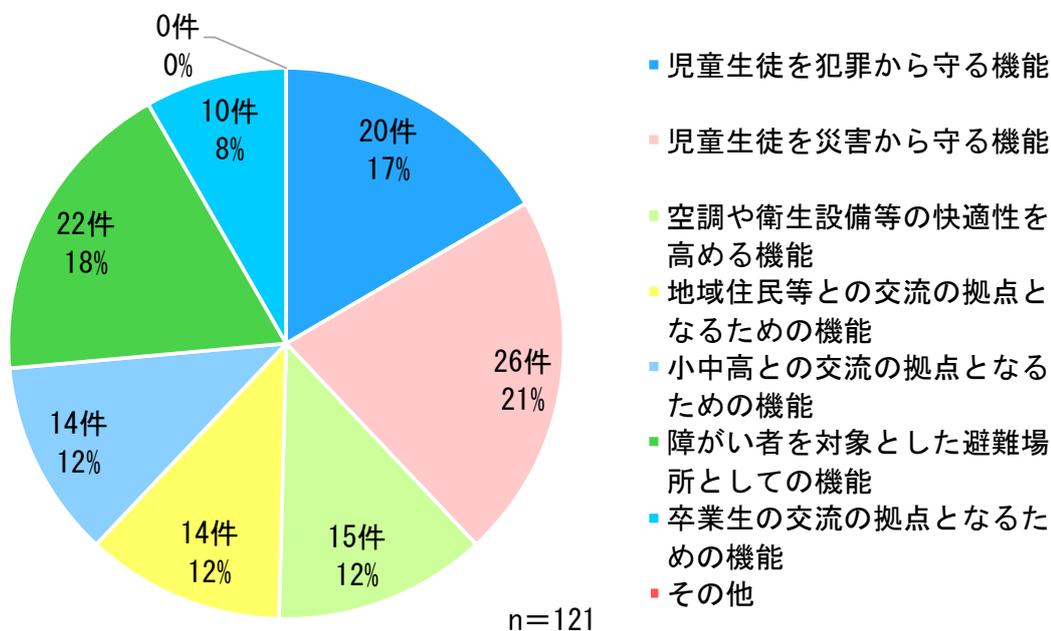


図 1-23 より積極的にとりいれるべきだと思う機能

問 E 新たに小学部から高等部までの教育を行う特別支援学校を各務原市に建設するにあたり、特に配慮すると良い点など（自由意見）

調査票では、質問の最後に自由記入欄を設け、本調査などに関することを自由意見として記入していただきました。原則として記入内容をそのまま掲載いたしましたが、明確な誤字脱字等は修正を行っております。また、個人や団体が特定される内容は割愛させて頂いております。

(1) 学校施設（建物や敷地等）について

No.	自由意見
1	既存の新しい学校よりも、より良い学校をつくるために近隣では羽島特別支援学校に視察、意見交換を何回もしていただき施設充実を図ってほしい。
3	二次調理室の設置。非常時に障がいのある子が居られる場所がなくなるので避難場所としての機能、設備。
5	子ども達が生活しやすい建物スペースにしてほしい。建物周囲は自然に囲まれ、せわしい日常を忘れられるような敷地にしてほしい。
6	予想外の自然災害が毎年起こっているので、ハザードマップに入る地域はやめて、建設に至るまで周辺の居住している方々に十分すぎるくらい説明して理解してもらえるように配慮してはいかがでしょうか。
7	バリアフリー
8	生徒さんたちの安全はもちろんのこと、地域のみなさんとたくさん交流をし、自己肯定感を高めることができるような施設であってほしいと思います。既存の小中学校に近いとより交流がしやすいと思います。
10	地域の恵みを感じられる自然豊かなところに建ててほしい。
11	いろいろなことを経験できるような環境づくり。
13	公共交通機関を使つての登下校により、社会的ルールやマナーを学べる機会を持つ。自力での登下校が難しい児童生徒の送迎のための余裕のある駐車場。体験を通しての学習、就労につながる生徒自身の意欲の育成。
14	バリアフリー
15	バリアフリーの部分を多く入れる。送迎がしやすいところ。
17	昨今の気象や衛生面に対応できる施設が望ましい。災害時に避難場所、活動の拠点になれる場所。
18	建物においては、よりバリアフリーが行き届いた設備。敷地は自然に多くふれることができるよう緑豊かなもの。
22	障がい者を対象とした避難場所としての機能について感染症対策もできるような施設が良いと思う。
23	駅に近いほうが良い。公共施設に隣接していたほうが良い。都市計画に位置付けしたほうが良い。緑化を意識したほうが良い。
25	設備の快適性、充実性の確保
26	販売や清掃等の多様な活動が行える空間を計画する。
27	障がい者の方の気持ちが落ち着くよう自然や動物と触れ合える環境。
28	建物のデザインより各務原市ならではの親しみやすくあたたかい雰囲気のある学校（建物）になることを期待しています。そうすることで通わせたいと思う保護者、通いたいと思う児童生徒が増えると思います。デザイン料にお金を

No.	自由意見
	かける必要性はない。
29	2階建て以下の低い建物。外から見て入ってみたいと思わせる様な施設。ナチュラルな雰囲気の店舗の併設（オープンカフェ、パン、ハンドメイド品販売等）
30	二次調理室の設置。非常時に障がいのある子が居られる場所の確保。
35	送迎が多いと考えられるので、スムーズにできるづくり。地域に根ざすのも大事であるが、犯罪から守る仕組みが大事。災害時を想定した学内の機能の充実。
37	広い教室（スペースを大きくとる）。教師と親との連絡体制の確立（電話がしやすい。適宜、適切な情報の伝達）。
39	バリアフリーの施設
40	トイレ等をわかりやすく、使いやすいものにする。
42	開放的で明るい雰囲気の建物、地域との交流がしやすい空間を作ってほしい。
43	親さんの送迎がしやすいのが良いと思う。お子さんを支援学校に通わせてみえる方の親の意見がとても貴重になるのでは。
44	二次調理室を設ける。人員、時間、衛生面の問題もあるが、食べる機能に課題がある生徒に対し、柔軟に対応できる施設を考慮願う。
46	小～高までで、どのくらいの人数を対象としているのか不明だが、幅広い障がいの子供たちが通える建物にしてほしい。

## (2) その他（学校の運営等）について

No.	自由意見
1	登校は基本は学校バスになると思いますので、駅から近くなくても良いと思います。羽島に通う子どもの保護者にも各務原のほうに行きたいと思われるように専門的、登校する立場的に良いものにしていただければよいと思います。
3	市内近隣学校などとの交流。地域の方が講師になって、農業、工芸、レクリエーションなどが受けられるような関わりがある生活。
5	特別支援学校の子どもたちが社会に出たときに、一人の社会人として自立して生活できるような能力を身に付けられるような学校にしてほしい。また、特別支援学校の子どもたちが、一人の人として認められ、普通に生活できるような社会の風潮を今以上に作れるよう支援してほしいと思います。情緒豊かな子が一人でも多く育つような教育をお願いしたいと思います。健常者が特別支援学校を卒業した子を目の前にしたとき、人としての在り方を考えさせられるような、人として尊敬できる子どもたちを一人でも多く育ててほしいと思います。（とても大変なことだとは思いますが・・・。）
6	バザー、作品展、文化祭などたくさんの行事を取り入れて収益金を運営費にあててはいかがでしょうか。
7	WIFI環境を確保してパソコン等で学べると良いと思います。また、専門の教員の下で障がいのない生徒と一緒に共同学習ができれば良いと思います。
8	多様性が求められるなか、ひとりひとりが、充実した生活ができるように地域の方々や他の小学校、保護者の方々の意見がたくさん取り入れられた運営であると嬉しいです。
10	職業体験をたくさんできるプログラムを組んでほしい。
11	将来的に少しでも自立して生活できるようにサポートしてあげてほしいです。

No.	自由意見
13	障がいを持つけれど頑張る先輩の姿を間近で見て学校生活を送れることで親も子も将来の我が子の姿、自身の可能性、憧れを持てる。
17	地域住民、近隣の小中高生ともっと交流できる機会を作ってほしいと思います。
18	自然、人との関わりを充分にもつことができるようなカリキュラムや体制作り。
22	特に高等部の教育を充実できると良いと思います。
25	先生、講師の充実
26	職業教育のため企業との連携強化。コンピューター等の情報機器、ネットワークの整備。生活面の自立だけではなく学習の機会とのバランス。
27	卒業後の支援・相談の場にもなってほしい。障がい者の家族の方同士のコミュニティ。
28	自分の子どもを通わせたいと思うような学校作りが大切ではないでしょうか。そのためには職員（先生）の質が高いことを望みます。
29	小中高との交流。吹奏楽部の娘が（高校生）年一回岐阜市の希望が丘の夏祭りに演奏に行くと、とても喜んでもらえると言っていました。お互いにとって良い事と思います。
33	各々の障がいに対する専門知識をしっかりともった人間的に優れた人材を十分に確保することが重要かと思います。個々に合わせた手厚い教育・指導を。
35	将来自立できるように支援していく。
37	スクールバスがあると良い。
40	自分の荷物置き場等をわかりやすく、使いやすいものにする。
42	資格取得など就職の手助けに力を入れてほしい。
44	農業や工芸等を地域住民から学び、地域と密着し、人間関係を築ける運営を考慮願う。
45	より幅広い児童に対応できるとよいと思う。
46	幅広い障がいの子供たちを対象としてほしいので、固定概念にとらわれず、多職種の人材を確保してもらい、色んな目線から支援できるようにしてほしい。建物や世間体のバリアフリーではなく、心のバリアフリーを一番に考えてほしい。